

第七十六回
帝國議會
貴族院

昭和十二年法律第九十號中改正法律案特別委員會議事速記第六號

昭和十六年二月二十六日(水曜日)午後一時四十分開會

○委員長(伯爵黒木三次君) 是ヨリ委員會ヲ開會致シマス、先ヅ織田君ニ發言ヲ御許シ致シマス

○子爵織田信恒君 私人質問ト申シマシテモ、實ハ昨日ノ下村委員ノ御質問若シクハ御意見ヲ伺フテ居ッテ、ソレニ關聯シテ自分ノ頭ニ浮ビマシタ所ヲ御伺フシタイト思フノデアリマスカラ、自然纏々意見ト云フヤウニハナリマセヌカモ知レマセヌガ、御許ヲ願ヒタイト思ヒマス、先ヅ一番初ニ御伺ヒシタイト思フノハ、昨日モソレヲチヨット御伺ヒシタイトデスガ、此ノ第一條ノ中ニア

ル「本法ハ食糧自給ヲ強化シテ圖ル」云々、此ノ食糧ト云フノハ、無論大體ニ於テ雜穀其ノ他ノ農作物デアルト思ヒマスガ、大體下ノ位ノ所ヲ豫想シテオイデニナリマスノデスカ、ソレヲ一點伺ヒタイトコトト、ソレカラ廣イ意味ノ食糧トナリマス、必ズシモ農作物ニ限ラナイデ、畜産若シクハ魚介類ト廣クナル譯デスガ、此ノ廣イ意味ノ食糧自給ト云フコトヲ考ヘルト、矢張り全般的ニ考ヘテ、ソレノ一翼トシテノ農作物トシテノ計畫ヲ立テルト云フコトガ、マア大體穩當ナ考ヘ方ト思ヒマスガ、サウ云フヤウナ御考ガ此ノ中ニ含マレテ、廣イ食糧自給ノ對策ト云フモノヲ一方ニ立テテ居ラレテ、其ノ一翼トシテノ御考ニナツテ居ラレルノカドウカ、其ノ點ト、二點ヲ先ヅ伺フテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(岸良一君) 食糧ノ範圍デゴザイマスガ、此ノ法律デ考ヘテ居ル食糧ハ畜産物トカ水産物トカ云フモノハ入ッテ居リマセヌ、主體ハ米穀及麥類、此ノ外夏作ノ一部トシテ甘藷ノヤウナモノヲ作ル、馬鈴薯ノヤウナモノヲ作ルト云フコトハ考ヘテ居リマスルガ、主トシテ狙ッテ居ルハ米穀及麥類デ、麥類モ大麥、裸麥ヲ指シテ居ル譯デアリマス、昨日モ申上ゲマシタヤウニ、此ノ外ニ小麥ハ從來ノ増産計畫千三百萬石ヲ其ノ儘持續シテ行カウト、斯ウ云フ考ヘ方デ居リマシテ、米麥ヲ中心トスル日本ノ食糧ヲ考ヘテ居ル次第デアリマス

○子爵織田信恒君 政府ノ御意嚮ハ明瞭デアルト思ヒマス、此ノ法律ノ性質カラ言ヘバ當然左様デアラウト思ハレルノデアリマスルガ、併シ是ガ長イ實際問題ニナツテ來ルト、田畑……田ノ方ハ無論問題ハアリマセヌガ、畑作ニナツテ來マスルト、ナカ／＼ソコノ所ハ、矢張り決メタ物以外ニ有利ナモノヲ農家方作ルト云フ傾向ガドウシテモ出テ來ル、昨日モチヨット申上ゲマシタヤウニ、茶畑ニシテ方ガ非常ニ收入ガ良イシヤウト云フコトニナレバ茶畑ニナル處ガアルシ、蜜柑畑ガ良ケレバ蜜柑畑ニナルト云フコトモ有リ得ルノデアリマスガ、矢張り此ノ食糧自給ト云フヤウナ建前カラ謂フト、ソコノ所ニ根本的ノ指導方針ガナケレバナラヌノダラウト斯ウ思ッテ居リマス、併シ此ノ法律ニ基イタ考ヘ方ハサウト致シマシテモ、昨日下村委員カラ御意見トシテ出テ居ル、食

糧ト云フモノヲモット廣イ範圍ニ考ヘタラドウカト云フ御意見ハ、私ハ是ハ全く同感ナシデアリマス、マア申ス迄モナク、我々ノ祖先ト云フモノハ所謂五穀全部ヲ主食トシテ居ッテ、其ノ中デドレガ重キヲ成シタカト云フコトハ、沿革的ニハナカ／＼ムツカシイ問題デアリマセウケレドモ、所謂五穀全般ガ主食デアッタト思フノデス、ケレドモ矢張り長イ慣性カラシテ米ニ行ク、若シクハ經濟的ノ理由カラシテ米ニ行クト云ツタヤウナ、嗜好、趣味ノ方カラ米ト云フモノニ我々ガ寄ツテ來タト云フコトモ、是モ事實デアリ、又認メナケレバナラヌ慣性デアラウト思フノデアリマスガ、併シ此ノ慣性ナルモノハ私ハサウ根本的ナモノデアルカドウカ疑問ガアル、是ハ慣性ガカラ直セナイトアレバ、ココデ方針ト云フモノハ非常ニ簡單ニ一ツシカ考ヘラレナイコトニナリマスガ、此ノ慣性ト云フモノハ、必ズシモソレガ先天的ナモノデナクテ、矢張り改メ得ル後天的ノ慣性デアルト云フヤウナ考ヘ方ガ起ルヂヤナイカト思ヒマス、ソレノ一ツノ例ヲ申上ゲマスト、私ハ兵隊生活ヲヤッタ時ニ、軍隊デハ米ヲ四分六分ト云ツタ麥ヲ混ゼテ出ス譯デスガ、視テ見ルト、入ッテ來タ當時農村カラ出テ來タ兵隊ハ非常ニ旨ガツテソレヲ食フ、都會カラ出テ來タ兵隊ハドウモ麥ガ食ヘナイ、メンコヲ逆サニスルト麥ガ浮クモンデスカラ、下ニナツタ米バカリ食ッテ麥ハ殘シタ、私自身も初メハドウモメンコヲ逆サマニシテ食フト云

フ傾キガアツタンデスガ、一月、二月經ツト腹ガ減ッテソナコトヲ言ッテハ居ラレナイ、麥モ何モ一緒ニ食ベテシマフ、其ノ結果非常ニ麥ト云フモノガ旨イト云フコトニナツタ、私ハ今日デハ麥ガ非常ニ好キニナツタノハ兵隊生活カラ得タ非常ニ御利益ダト思ッテ喜ンデ居リマスガ、又近頃話ヲ聽キマスト、軍隊デハ一週間ニ何遍カ高粱ヲ混ゼテ行ッテ居ッテ、初メハ高粱ハ食ベラレヌト云ッテ居ッテ、段々食ベ慣レルト旨イト言ッテ喜ンデ食ベテ居ルヤウデアリマス、サウ云フヤウニ考ヘマスト、或程度慣性ト云フモノハ訓育ニ依ツテ私ハ直シ得ルモンダト思ヒマス、是ガ事變前ノヤウナ極ク自由ニ米ヲ皆食ベラレルヤウナ時ニ、サウ云フ慣性ヲ附ケルト云フコトハ可ナリ困難デアリマスガ、昨今ハ代用食、若シクハ物ヲ混ゼテ食ベルト云フコトニ皆ガ慣レテシマツタ時デアリマスカラ、斯ウ云フ機會ニ矢張り食糧トシテ多少慣性ヲ改メサセルト云フヤウナ努力ヲシテ宜イ時デハナイカト思フ、サウ云フ意味カラ云フト、麥ヲ混ゼタリ豆ヲ混ゼタリシテ代用食ト云ッテ居ルヤウダガ、此ノ代用食ト云フ言葉ハ棄テテシマツタ方ガ宜イト思フ、サウシテ例ヘバ五穀ナラ五穀ヲ主食ニシテ、同ジ「レベル」ニ於テ何レニ對シテモ尊敬シテ、尊ブト云フ慣習ヲ附ケルコトガ必要ナノデアアルマイカ、此ノ嗜好ノ外ニ、米ニ依ルト云フコトハ體裁カラ來ル場面ガ非常ニ多イト思フ、田舎ニ行ッテ

モ米ヲ食ベテ居ルト云フコトガ、何カ裕リノアル、生活程度ノ向上シタ「ハイカラ」ノ氣持デ、面子カラソツチニ寄テ來ル點モナイデハナイカト思ヒマスノデ、斯ウ云フ機會ニ矢張り食料トシテハ、假ニ五穀ト申シマセウカ、ソレヲ全體同列ニ並ニ獎勵シテ行ク、或程度米ニノミ依頼シテ居ル習性ヲ此ノ機會ニ改メサセルト云フヤウナコトガ私ハ非常ニ必要デハナイカト思フ、何時ゾヤ此ノ前ノ時デシタカ、野村子爵カラ農林省ハ増産方面ニ非常ニ力ヲ入レマスガ、今日ハソレダケデハイカスノデヤナイカ、配給ノ方ニモ力ヲ入レル時ガ來タト云フヤウニ言ハレマシタガ、是ハ本當ニ事實ダト思ヒマスガ、私ハ一步進ンデ生産方面ニ御努力相成リマスルト共ニ、消費方面モ共ニ合理的ナ方向ニ導イテ行カレルト云フコトガ、時機トシテモ宜イ時デアリ、又將來ノコトヲ考ヘルト、是ハ理想論デヤナイ、是非サウシナケレバナラヌ必要ニ迫ラレテ居ルンデヤナイカト、斯ウ思フノデアリマス、殊ニ昨今此ノ日滿ト云フモノハ色々ノ方面カラ密接ニ關係ヲ取ツテ各方面ノ施設ヲシテ行カナケレバナラヌ、斯ウ云フヤウニナツテ參リマシタ時ニ、矢張り米ニノミ依ル習性ヲ何時迄モ持タシテ置イテ、果シテ日本民族ト云フモノガ今後滿洲ヲ以テ繁榮シ、丈夫ナ子孫ガドンドン出テ行クカドウカト云フコトハ、餘程研究シナケレバナラヌ問題デハナイカト思フ、農作物ニ所謂適地適作ト云フコトガゴザイマスガ、ソレト同ジヤウニ逆ニ消費部面カラモ適地適食ト云フヤウナコトガ私ハアルノデハナイカ、サウ云フ言葉ガアルノカドウカ知リマセヌガ、假ニ適地適食ト云フ言葉ヲ使ヒマス、矢張り

消費方面ニ於テ適地適食ト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌノデアリマス、最モ過日野村子爵カラノ御質問ノ中ニ榮養價ト云フコトヲ言ハレテ、是モ御尤ナ御意見デスガ、是ハ一ツノ農作物ニ付テノ榮養價ヲ見ルノモノツノ榮養價ノ見方デアリマスガ、其ノ土地ヲ主體ニシテ農作物ノ下レガ一番榮養價ガアルカト云フコトモ一ツノ榮養價ノ見方デアルト思ヒマス、是ハホンノ思ヒ付デ、私モ何モ研究シテ申シテ居ルノデハナイカラ、間違テ居ルカモ知レマセヌガ、滿洲ノ方デ矢張り「ロシア」人ヤ何カノ中ニハ彼處ニ住ンデ居テ、黒「パン」ニ部厚ニ「バター」ヲ塗ツテ子供ニ食ベサシテ居ルト云フコトガ、ドウモ子供ノ發育ニハ一番宜イノデハナイカ、彼處ニ行クトドウモ脂肪分ト云フモノガ要ルノデハナイカト思ヒマス、日本ノ内地ノヤウナ處デハ淡白ナモノヲ食ベテ行クコトハ健康上宜イノカモ知レマセヌガ、儲テ滿洲ニ行ツタ時ニハ、其ノ土地ノ昔カラ貴バレテ居ル食物ト云フモノハ矢張り其ノ人類ニ適シタ食物デアルカモ知レナイ、デアリマスカラソレガ爲ニ米ニ對スル習性ヲ持ツテ居リ、儲テ滿洲ニ行ツテ先々ニナツテ、民族的ニ非常ニ弱イモノニナツテシマス、他ノ民族トハ太刀打ガナラヌト云フ場面ガ若シ起ルコトガアルト、是ハ實ニ恐ルベキ問題デアル、今日ニ於テソレヲ合理化シ、サウ云フヤウナコトノ無カラシムルト云フコトガ最モ大事ナヤリ方デアアルマイカト思ヒマス、昨日モ下村委員カラ南洋ニ於ケル若シクハ南方ニ於ケル日本人ノ發展ヲ述ベテ居ラレマシタガ、其ノ御言葉ノ中ニモ、現在ノ事實トシテハ發展シテ居ルガ、儲テ將來ノコトハドウナルノダラウ、民族ノ將來ガ

ドウナルノデアラウト云フヤウナ御言葉モアリマシタガ、サウ云フ問題モ主トシテ矢張り食糧問題ガ中心ニナツテ考ヘルベキ問題デアラウト私ハ思フノデアリマス、過日滿洲ニ於ケル滿洲人、ソレカラ「ロシア」人、日本人ノ子供ノ成育状態ヲ御伺ヒシマシテ、若シ何カ參考資料ガアレバト云フコトヲ申上ゲマシタノハ、實ハサウ云フコトヲハッキリ私ノ頭ニ入レテ見タイト云フ意味カラ御願ヒシタノデアリマス、是ハマア滿洲ニ行カレテ、非常ニ日ガ淺イシ、ナカナカ御無理ダラウト思ヒマシテ、其ノ要求ヲ私撤回致シマスガ、併シサウ云フ點ニ付テ一ツ御注意ヲ願ヒマシテ、今後サウ云ツタ研究機關ヲ考ヘル、是ハ内地ニ於テモ私ハ北海道、東北、若シクハズツ九州アタリトハ自ラ矢張り適地適食ガアルノダラウト思ヒマス、デスカラ出來ルコトナラ内地ニ於テモ合理的ナ、一ツ食糧研究ノ機關ヲ御設ケ戴イテ、斯ウ云フ物ヲ食フノガ一番宜イト云フヤウナモノヲシカリ擱ンデ、ソコデ此ノ増産計畫モサウ云フ根本的ノ基礎カラ農作物ニ對シテノ指導方針ト云フモノヲ御決メ戴イタナラバ、非常ニ我々ハ子孫ノ爲ニモ安心スルノデハナイカト思フノデアリマス、餘談ニ互ツテ甚ダ恐縮デアリマス、是モ聽イタ話デアリマスノデ、何處迄眞實カ知リマセヌガ、「ドイツ」ノ家畜ノ飼料ガ非常ニ少クナツタ、其ノ時「ドイツ」ハドウ云フコトヲヤツカト云フト、結局豚ノ飼育ヲ廢メサシテ、總テノ飼料ヲ牛ニ集中シタ、ソレハドウ云フ譯カト云フ、牛カラハ「バター」ガ取レ、乳ガ出ル、肉ガ食ヘル、豚ナラバ乳モ何モ出ナイ、ダカラ牛ノミニ主力ヲ注イダ、足リナイ飼料ヲ最モ有效ニ國民ノ榮養

價值ノアルモノニ、重點主義ヲ取ツテ行ツタト云フコトヲ聽キマシタガ、是モ私一ツノ合理的ニ物ヲ考ヘル方法トシテハ賢明ナヤリ方ダト思フノデアリマス、日本デモ例ヘバ鶏ノ飼料ガ足りナクナツタナレバ、無イモノヲ無理ニヤルト云ツテモ、ドウシタツテ出來ナイトスレバ、已ムヲ得ズ卵ヲ産マヌ鶏ナドハ少シ手ヲ省ク、觀賞用ノヤツハ省クト云フ位ノコトハシテ、矢張り必要ナモノニ重點的ニ、是モ有效的ニ全體の食糧政策ヲ立テテ行クト云フコトヲ御考ニナルコトガ全般的ニ私ハ必要デヤナイカト思フノデアリマス、ソレニハ矢張り必要ナル地方ニ研究機關ヲ設ケ、サウシテ徹底的ニサウ云フコトヲ所謂科學スル心、此ノ頃流行ッテ居ル所ノ、食糧ニ對シテモ科學スル心デ御研究ヲ是非願ヒタイヤウニ思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテ政府御當局ノ御意見ハ如何デアリマセウカ

○政府委員(岸良一君) 或ハ食糧局長官カラ御話ガアルカモ知レマセヌガ、一應私カラ御答辯申上ゲマス、日本人ガ餘リニ單食デアルト云フコトハ宜シクナイ、寧ロ斯ウ云フ際ニ於テハ、各種ノ穀物、或ハ廣ク食物ト名ツケルヤウナモノヲ併用シテ行ク方ガ宜イノデヤナイカ、又併用スル慣習ヲ作ル方ガ宜イデヤナイカ、斯ウ云フ御話デゴザイマスガ、誠ニ御尤モダト思フノデアリマス、將來ノ向キカラ見マシレバサウ云フ方向ニ進ンデ行クコトガ、日本民族トシテモ發展シ得ルコトデアアラウト思フノデアリマシテ、只今御話ノ滿洲方面ヘノ進展或ハ南洋方面ヘ進出スルト云フコトニナリマスレバ、其ノ地方ノモノヲ利用シテ行クト云フコトニ重點ヲ置イテ、サウシテ生活ニ彈

力性、伸縮性ノアルモノヲ慣習付ケテ行ク
コトガ、食糧ニ付テハ必要ダト思フノデア
リマス、詳シク申上ゲテモ、御承知ノ
ヤウニ日本デモ昔カラ米バカリ食ッテ居ッ
譯デハナイノデ、明治初年カラ暫クノ間ト
云フモノハ、各地共今日東北ダケニ見ルヤ
ウナ牌等ヲ相當ニ常食トシテ居ルノデアリ
マス、ソレガ順次變化シテ、斯ウ云フ風ニ
變ッテ來テ居ル譯デアリマス、唯米ニ對スル
執著ガ強イト云フコトハ、自分自身デモ呆
レル位ニ考ヘテ居ルノデアリマスカラ、一
般トシテ強イ執著ヲ持ツコトモ尤モダラウ
ト思ヒマスルガ、斯ウ云フ機會ニ於キマシ
テ、或點迄昔ノ狀態ニ戻スト云フコトモ必
要ダト思ヒマスガ、唯之ヲ昔ニ戻ストカ、
或ハ他ノモノヲ利用スルト申シマシテモ、
之等ニ對シテハドウシテモ之ヲ利用スル上
ノ調理ノ方法ト云フコトニ付テ十分研究シ
テ行ク必要ガアル、是等ノコトニ付テ食糧
ノ研究機關ヲ作ッテ行クト云フヤウナコトハ
御尤ノコトト思フノデアリマス、滿洲ノ移
住ニ當リマシテ現地ノ食糧ヲ使フト云ッテ
モ、原住シテ居ル人々ノ食ベルヤウナヤリ
方デ必ズシモ日本人ガ之ニ順應シテ行ケル
ト云フモノハナイノデアリマス、場合ニ
依レバ其ノ材料ト云フモノノ程度度日本の
ニスル、例ヘバ高粱等ニ付キマシテモ之ヲ
適當ニ精白スル、サウシテ混合スルト云フ
コトニナリマスレバ、相當混ッテ居ッテモ立
派ニ食ベラレマス、私モサウ云フ經驗ヲ持ッ
テ居リマス、其ノ外蕎麥ノヤウナモノニ付
テモ、外ノモノデモ、日本のニシテ食ハセ
ルト云フヤリ方、即チ從來ノ米ノ持つ特性
ニ他ノ雜穀ノ持つ性質ヲ加ヘテ形ヲ變ヘテ
行クト云フヤウナヤリ方デ幾ラモ考ヘラレ

ルデヤナイカト思ヒマス、又同ジモノニ於
テモ其ノヤリ方デハ幾ラモ方法ガアル、サ
ウ云フ意味ニ於テ食糧ノ研究ヲ廣イ範圍デ
ヤッテ行クト云フコトハ、極メテ必要ナコト
デアルト思フノデアリマシテ、誠ニ御同感
ニ堪ヘナイ譯デアリマス、ソレ等ニ付キマ
シテ十分慎重ニ研究ヲ致シタイト考ヘテ居
リマス、又資料ノコトニ付キマシテ、滿洲
ニ行ッテ居ル日本移民ノ子弟ノ健康狀態或
ハ「ロシヤ」人、滿洲人トノ比較ト云フヤウ
ナコトニ付テ資料ノ提出方ヲ求メラレテ居
タノデアリマスガ、茲ニ一應ノモノハ御手
許ニ差上ゲテゴザイマス、併シ是ガ果シテ
御希望ノヤウナ點ニ間ニ合ヒ、又只今御指
摘ニナリマシタヤウナコトノ爲ノ資料トシ
テ役立ツカドウカハ問題デアリマスガ、一應
御手許ニ差上ゲテ置キマシタカラ御覽願ヒ
タイト思フノデアリマスガ、健康狀態ニ付
テハ滿洲ノ醫科大學等ニ於テモ調査ヲシテ
居リマスカラ、ソレ等ノ資料モゴザイマセ
ウト思ヒマスガ、只今手許ニアリマシタノ
ハ是ダケデゴザイマス、是デ御了承ヲ願ヒ
タイト思ヒマス

○政府委員(湯河元威君) 只今米其ノ他ノ
食糧ニ付テ研究シテ見ヨト云フ御指示ガゴ
ザイマシタガ、食糧管理局ノ關係デ色々ヤ
ッテ居リマスコトヲ簡單ニ御説明シテ置キ
イト思ヒマス、誠ニ只今御話ヲ承リマシタ
通りデゴザイマシテ、日本ノ今後ノ食糧事
情ヲ考ヘマスト、色々各方面ノ増産施設等
ハ十分ニヤッテ行キタイト思ヒマスガ、只今
ノ通りニ米バカリニ重點ヲ置キマシテ其他
ノ食物ハ斯ウ云フ困ッタ時ニ混食或ハ代用食
ト云フヤウナ名前ヲ用ヒマシテ、非常ニ第二
義的、第三義的ニ考ヘテ行クト云フヤウナ

行キ方ハ、將來續ケテ行フコトハ宜シクナイ
ト私モ思フノデアリマシテ、寧ロ只今御話ノ
アリマシタ通り、米麥其ノ他雜穀類、兎ニ角
日本ノ土地ニ穫レマセモノナラバ、ソレヲ十
分活カシテ食糧トシテ用ヒテ行ク、ソレヲ主
要食糧ト見テ行クト云フヤウ持ッテ行クノガ
本當ト思フノデアリマス、ソレデ今後色々増
産等ヲシテ行ク上ニ於キマシテモ、只今御話ノ
ゴザイマシタ適地適産ト申シマスカ、適作
ト申シマスカ、サウ云フ御趣旨ヲ以テ十分
ニ増産計畫ヲシテ行キマスト同時ニ、食糧
ノ……何ト申シマスカ、用ヒ方ニ付キマシ
テモ、其ノ地方々々ノ地方食ヲ活カシテ、
ソレトノ地方ニ於テハソレトノ地方ノ生
産シタ食糧ヲ食ッテ行ク、ソレヲ普通ノ狀態
ニスルト云フ風ニ一ツ將來組織立テテ參リ
タイト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、
織田委員ノ仰シヤツタ通りト考ヘテ居リマ
ス、ソレニ付キマシテ將來研究機關デモ設
ケテヤルヤウニト云フ御話デゴザイマシタ
ガ、此ノ點モ各方面カラサウ云フ御意向ヲ
承ッテ居ルノデアリマス、實ハ先日内田委員
カラサウ云フ御話ガゴザイマシテ、簡單ニ
申上ゲテ置イタノデゴザイマスガ、只今米
穀利用研究所ト云フモノガゴザイマシテ、
色々過剩米ノ處理方法ノ研究ヲ中心ニシテ
研究致シテ居リマシタノデアリマスガ、最
早サウ云フ研究ノ時期デモナイト云フ風ニ
思ハレマスノデ、此ノ四月カラハ、利用研
究所ノ名稱ヲ之ヲ食糧研究所ト改メマシテ
サウシテ只今御指摘ノゴザイマシタヤウナ
事、其ノ他將來ノ食糧自給上必要ナ科學的
研究ヲヤッテ參リタイト存ジテ居リマス、地
方ニ於キマシテ能ク郷土食ノ研究、國民食
ノ研究トカト云フモノガゴザイマスガ、厚

生省ノ厚生科學研究所ノ方ハ寧ロ人體ノ榮
養ト云フ方面カラシテ見テ戴キ、私ノ方ハ
ソレヲ食糧ノ供給、物質ノ方カラ見テ一ツ
兩方協力シテ只今御指摘ノゴザイマシタヤ
ウナ問題ニ對處シテ參リタイト云フ考ヲ持ッ
テ居リマス、ソレデ其ノ豫算ニ付キマシテ
過般内田委員カラ御話ガゴザイマシタデス
ガ、實ハ其ノ當時申上ゲマセヌデシタガ、
約十五萬圓バカリノ經費ニナッテ居リマス、
誠ニ經費ハ僅少デゴザイマシテ到底十分ノ
コトハ出來マセヌノデゴザイマスケレドモ、
寧ロ立派ナ人ヲ集メテ科學的研究ヲ完成シ
テ戴キタイト云フ風ナ考ヲ持ッテヤッテ參リ
タイト思ッテ居リマス

ノコトモ十分考ヘテ戴イテ、食糧問題トシテモ大事ナ物ハ、マア確保スルト云ツタヤウナコトガ私ハ宜イノデヤアルマイカト云フ氣ガシマス、是ハ程度ノ問題モアリマセウガ、サウ云フコトモ一ツ御考ヲ願ヒタイト思フテ居リマス、ソレカラハハ大臣ニ申上ゲル方ガ宜イノデアリマスケレドモ、問題ガ關聯シテ居リマスカラ、此ノ機會ニ申上ゲテ置キタイト思フノハ、矢張り食糧ト云フモノガ、サウ云フヤウニ廣ク考ヘテ參リマスト、米穀ニ對スル政策ト云フモノガ矢張り餘程根本的ニ考ヘ直ス所ガ出テ來ナケレバナラスノデヤアルマイカト思フ、此ノ委員會ニ於テモ永田、下村兩委員其ノ他カラモ御意見御質問ガアリマシタガ、矢張り米穀ノ増産對策モ、既ニ大陸政策ヲ採ル時期ガ來テ居ルデヤナイカ、斯ウ思ヒマス、我我ノ理想カラ言ヘバ、米ハウント安ク、百姓ガチツトモ困ラナイト云フ時代ノ來ルコトヲ一番謳歌スルノデアリマスガ、今日ノヤウニ「コスト」ノ高イ時ニ於テハ餘リサウ云フコトハドウカト思ヒマスガ、豊富ニ我々ノ米ガ出來テ、十分ニ貯藏シタ上、餘タモノハドン／＼輸出スルト云フ位ノ所ガ出テ居レバ、是ハ最モ良イ所デアリマセウケレドモ、今迄ノ過去ノ日本ノ國情、又島國ノ關係カラ言フト、サウ云フ政策ハ立チ得ナカッタカト思ヒマス、幸ニ今度大陸ニ於テモ食糧問題ヲ共ニ考ヘルコトガ出來ル時代ガ來タ以上ハ、米ノ大陸政策ト云フコトヲ根本的ニ考ヘル時期ガ來タンダト思フノデアリマス、唯斯ウ云フコトヲ大臣トシテ、若シクハ農林當局トシテ仰シヤツテハ農村ニ非常ニ一種ノ不安ヲ與ヘル、今増産獎勵ヲシテ居ルノニ、將來米ト云フモノ

ハ大陸ノ方ニ行クンダ、内地ハ一ツノ「コスト」ノ高イノハ主畜農業デ行クンダト云フコトヲ言フテハ非常ナ「シヨック」ヲ與ヘル虞ガアリマスカラ、直チニ實現シテ戴クトカ、サウ云フコトヲ私言フ譯デアリマセスケレドモ、併シ米其ノ他ノ食糧問題ガ斯ウ云フ風ニ轉換シテ來タ今日ニ於テハ、何時カハソコニ來ルベキ運命ガ來ルンダト思フノデアリマス、サウ云フコトヲ考ヘテ見ルト、今カラ實行ハ別トシテ、一ツノ考ヘ方トシテハ、モウ既ニ世ノ中ニ響カシテ置イテ宜イ問題デハナイカ、今カラ皆ノ頭ニサウ云フコトヲ考ヘナガラ、農耕作ヲヤツテ行クト云フ氣持ヲ織リ込マシテシマツテ宜イ時代ガ來テ居ルノデヤナイカ、誰カノ時代ニハ必ず之ヲヤラネバナラス時代ガ來ルト思フノデアリマスカラ、其ノ點カラ言フト、農村ニ親切ナ石黒農林大臣ノ時ニ、サウ云ツタヤウナ、一ツノ理想論ト謂フカ、將來、直チニデナクテモ、百年後ノ米穀對策ト云フモノヲ、石黒米穀對策ト云フモノヲ一ツココデ世間ニ御出シニナルノモ或ハ宜イデヤナイカ、コンナ氣モ私ハシテ居ルノデアリマス、ケレドモ實際ノ局ニ當ッテ居ラレ立場カラ……責任ノ御有リニナル立場デアリマスカラ、我々ガ簡單ニ言フヤウニ、此ノ問題ヲ御取扱ニナルコトハ恐ラク困難ダラウト思ヒマスガ、詰リ我々ノ研究課題トシテ、サウ云フコトモ御考ヘニナツテ置イタラドウカ、斯ウ云フ氣持ヲ持ッテ居ルノデアリマス、是ハ別段御答辯ヲ要シナイト思ヒマス、私ノ希望トシテ申上ゲテ置キマス、以上ヲ以チマシテ私ノ質問ヲ終リマス。

○松村眞一郎君 私ハ第一ニ農地全般ニ互リマシテノ民事刑事ニ關ル法制ニ付テ御質問ヲ致スノデアリマス、第二ハ營團ノ性質ニ付テノ質問デアリマス、第一ノ斯クノ如ク民事刑事ニ互リマシテ廣ク御質問ヲ致シマス所以ハ、此ノ度ノ法律ハ間ニ合セテ法律デナイ、慌テテ作ツタモノデナイト云フコトヲ永田委員ノ御質問ニ對シテ大臣ハ御答ニナツテ居ルノデアリマス、大臣豫テノ持論トシテ、農地ハ開發シテ行カネバナラスト云フ恆久ノ必要アリト云フ御考カラ出發シテ居ルノデアリマスカラ、從ッテ農地ニ對シテ全般の恆久的ノ法制ト茲ニ眺メルト云フコトハ必然的ニ必要デアルト私ハ思ヒマス、且法案ヲ見マスト、從來實行シ來ツタ所ヨリ開發助成法ト云フモノヲ、案ハ第七十四條デゴザイマスガ、規定ニ依ッテ廢止サレテ、ソレハ總テ此ノ法律ノ中ニ包容シテ居ルノデアリマス、本法律案ノ恆久的ノ性質ヲ持ツモノハ二條三條ニ在ル譯デアリマシテ、是等ノ條文ハ僅ニ二箇條デアリマスケレドモ、之ヲ以テ政府ハ永ク助成ヲシヨウト云フ考ト私ハ見テ居リマス、併シナガラ此ノ法制ノ建前ハ遺憾ナガラ私ハ不完全デアルト考ヘマス、ソレハ後申上ゲマスルガ、サウ云フ意味ニ於テ全般ニ付テノ質問ヲ致シマス、ドウモ今日迄農地ニ付テノ全般の法制ガ立テラレテ居ナイト云フコトヲ痛感スル、先年議會デ審議ヲサレ、私モ特別委員ノ一人トシテ參加シタノデアリマスガ、農地調整法ト云フノガ出來タ、ソレヲ見マスト農地ガ調整サレタモノデアアル、全般のニ整ッテ居ルカノ如キ感ヲ世間ニ抱カセマスガ、ソレハ農地ノ調整デハナクテ、農地ノ關係ヲ調整シテ居ル、地主ト小作人ト云フ農地ニ關スル人的關係

ヲ調整シテ居ルノデアツテ、農地ノ物的關係ヲチヨツトモ、調整シテ居ナイ、今度ノ法律ハ農地其ノモノ、即チ物的ニ農地ヲ眺メタ意味ノ法律デアルカラ、物的ノ農地ヲ如何ニシテ我々ハ改良シ、之ヲ維持シテ行クカト云フコトニ付テ考究シナケレバナラスト思フノデアリマス、私ハ實ハ此ノ全般ニ互ル質問ヲ致スコトニ付テ、少シ躊躇シタノデス、ソレハ實ハ斯ウ云フヤウナ廣汎ニ互リマス質問ヲ致スニ付テ、自分ノ素養モ乏シイシ、修養モ乏シイノデアリマスカラ、從ッテ御質問ノ資格ナシト云フコトヲ考ヘタノデアリマスケレドモ、矢張り御尋ネ致シテ置キタイト云フコトノ心ガ動キマシタモノデスカラ、甚ダ僭越ト思ヒマスケレドモ、質問ヲ致ス次第デアリマスカラ、御聽苦シイト思ヒマスケレドモ、是ハ委員ノ方々ニ何卒御宥恕ヲ願ヒタイ、私ハ農地ノ全般ニ付テハ斯ウ云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ農地問題ハ實ハ昔ナガラノ問題デアルト云フコトニ私ハ考ヘル、即チ精神ノ問題デアルト云フヤウニ私ハ考ヘル、ソコデ先ヅ私ノ考ヘサセラレルノハ、非常ニ古イ所ニ廻リマスガ、須佐之男命ガ「阿離チ溝埋ムル」ト云フ御行爲ガアツタト云フコトデアリキシテ、此ノ「阿離チ」ハ畦畔ヲ撤去シテシマフ、サウシテ「溝埋ムル」ト云フノハ水路ヲ埋メテシマフノデアリマスガ、是レ即チ灌漑排水ニ付テノ一ツノ行爲ヲナサレタ、ソレニ對シテ天照大神ハ是ハ「地矣阿多良斯登コソ如此爲シツラメ」ト仰セラレテ居ル、「地ヲアトラシトコソ」ト云フ「アトラシ」ト云フコトハ、惜ム可シト云フコトニ本居宣長ハ解釋シテ居ル、古來サウ云フヤウニ解釋シテ居ル、私ハ初メ古事記ヲ讀ミマシ

タ時ニ「アタラシ」ダカラ、新シクスルノデ
ハナイカト考ヘテ、農業ノ「ローテイシヨ
ン」デアアル、或土地ヲ何時迄モ耕作シナイ
デ、又ソレヲ他ノ土地デヤル「ローテイシヨ
ン」デハナイカト考ヘテ、古事記傳ヲ讀
ミマシタガ、サウデナクテ惜ム可シト云フ
コトデアアルガ、是ハ矢張り耕地ノ水利ノ問
題デアアルト私ハ思フ、處ガ農業ニ付テハ、
ドウシテモ「ローテイシヨ」ト云フ問題ガ
非常ニ大切デアリマス、例ヘバ茄子ヲ栽培
スルト云フト、同ジ畑デ作ルト云フト出来
ナイ、ソコデ農業上ニハ忌地ト云ツテ、サウ
云フコトハヤラナイガ、米、ニハ忌地ト云
フ問題ガナイ、私ハ臺灣ニ居リマシタ時ニ、
甘蔗ニ付テハドウシテモ忌地ト云フコトガ
アル、甘蔗ト云フノハ一遍耕作シマスルト
云フト、地力ヲ盡シテ養分ヲ吸收シテシマ
フ、ソレデアリマスカラ、甘蔗ハ連作ガ出
来ナイ、必ズ甘蔗ノ後ニハ米ヲ作ルト云フ
コトニナツテ、必然的ニ「ローテイシヨ」ガ臺
灣デハ行ハレテ居ル、水田ハサウ云フコト
ハナイ、矢張り土地ヲ新シクスルト云フコ
トハ場合ニ依テハ必要デヤナイカト思フ
ノハ、大臣ガ言ハレマシタ巨椋ノ池ノ問題
デアリマス、是ハ昔カラ灌漑ノ爲ニ出来タ
池デスガ、先達テ國營テ開墾ヲサレテ、或部
分ヲ耕地ニシタ、是レ即チ一ツノ廣イ意味
ニ於テノ土地ノ轉換ト見テ宜イト思フ、其
ノ際ニ大臣ノ御説明ニ依リマスト、無肥
料デヤツテ居ルカラ國營開墾ト云フ處ニ力
ヲ入レテ、努力ヲ掛ケテ、資本ヲ投ジテ置
キサヘスレバ、出来上ツタ農地ニ付テハ、三
浦委員カラ御心配ニナツタヤウナ肥料問題
ハココニハナイト云フノデ大變結構ナコト
デアルト思フ、大臣ノ言ハレタコトト同ジ

コトガ矢張り昔カラアルト思フ、ソレハ崇
神天皇ノ時依網ノ池ヲ作ルト云フコトガア
ル、ソレカラ仁徳天皇ノ時ニモ依網ノ池ヲ
作ラセ給ヒト云フコトガ古事記ニアル、是
ハ同ジ池ヲ作ルト云フコトガ後ニアルト云
フノハ、池ノ其處ノ土地ノ構造ヲ變更シテ、
或部分ヲ耕地ニサレタト云フコトデアリカ
ト思フ、巨椋ノ池モ今日或部分ハ水ノ儘殘ッ
テ居ル、ソレハ天然記念物ノ狸藻ヲ保存シ
ナケレバナラヌ關係モアツテ池ガ殘ッテ居ル、
全部池ガナクナツタ譯デハナイ、ソレカラ
仁徳天皇ノ時ニハ難波ノ堀江ヲ掘ツテ海
へ通シタト云フコトガアル、是ハ灌漑排出
ノ水路ヲ御作りニナツテ居ルト云フコトデ
アリマスカラ、土地ノ改良トカ、開發ト云
フコトハ昔カラ行ハレテ居ルコトデアツテ、
今ニ始マツコトデアナイ、長ク續クコトト思
ヒマス、下村サンハ餘リヤツテシマツタ、
國民ハ後デヤル所ガナクナツテ困リハシナ
イカト仰セラレマシタガ、ソレハナカ
困ルドコロデアナイ、次カラ次ト開發スベ
キ所ガ出テ來ル、ノミナラズ現狀維持ト云
フコトニ非常ニ骨ガ折レル、是ハ別途資料
ヲ政府委員ニ要望シタノデアリマスガ、打撿
テ置イテモ災害ト云フモノガアレバ農地ヲ
荒ラシテシマフ、ソレデ復舊スルト云フ問
題ガ起ツテ來ル、ソレハ鐵道省ニ於テ鐵道ノ
建設ガアレバ、必ズ横ニ保線ト云フコトガア
ル、是ハモウ鐵道ノ續ク間ハ必ズ保線ガア
ルノデアリマスカラ、農地ノアル間ハ後世ノ子
孫ガ仕事ガナクナルト云フ程ジツト現狀ヲ維
持シテ居ルモノデアリマス、私ハ
必ズ永久ニ必要ナモノト思フノデアリマス、
サウ云フヤウナ關係デアリマスカラ、ドウシ
テモ是ハ廣ク御考ニナラナケレバナラヌト

思フノデアリマス、ソコデサウ云フヤウナ
古事記ニ於ケル又日本書紀ニ於ケル記事、
或ハ耕地ニ付テハ重播、挿籾ト云フヤウナ
コトガアリマス、其ノ言葉ヲ承ケテ大祓ノ詞
ガ出來テ居リマス、毎年六月三十日、十二
月三十一日ニ宮中ヲ初メ全國各神社大祓
ノ儀ヲ行ハセラレマス、我々國民ハ其ノコ
トヲ日常知ツテ居ル筈デアリマス、其ノ中ニ
書イテアルコトニ、天津罪、國津罪ト云フ
コトガアツテ、其ノ天津罪ノ中ニハ畔放、溝
埋ト云フコトガ書イテアル、國民ハ年々サ
ウ云フヤウナ大祓ノ詞、サウ云フコトガア
ルコトハ知ツテ居ル譯デアリマス、其ノ天津
罪ト稱セラレテ居ルモノガ今日ノ刑法ノ條
文ノ何處ニ在ルカト云フコトヲ私ハ問ハザ
ルヲ得ナイ、刑法ヲ見マシテモ、民法ヲ見
マシテモ、昔ナガラノ農地ニ關スル規定ト
云フモノハ私ハ發見シナイノデアリマス、
ソレハ司法次官ハ直グ御氣付ニナルト思ヒ
マス、刑法ヲ見マシテモ、色々水利ニ關ス
ル罪ト云フモノガアリマス、併シナガラド
ウモ適切ニ、私共考ヘテ居ルヤウナ工合ニ
刑法ノ各論、罪ト云フ篇ノ第十章ニ溢水及
ビ水利ニ關スル罪ト云フノガアリマス、之
ヲ眺メテ見マシテモドウモ適切ナモノハ發
見シ得ナイノデアリマス、然ラバソレハ特
別法デアルカラ、刑法ノ如キ一般ノ法制
ノ中ニ入レルニハ餘リニ小サイト云フコト
ヲ假ニ想像サレタトシテ、ソレデハ何處ニ
農地ニ關スル特別法ガアルノカ、ナイノデ
アリマス、今申シタ如ク農地其ノモノヲ目
標ニシテ法律ハナイノデアリマス、是ハ私
ハ怠慢デヤナイカト思フ、何故斯ウ云フ風
ニナツカト言ヘバ、日本ノ刑法ハ申上ゲル
迄モナク、初メハ「フランス」系デアアル、フ

ランス」ノ系統ノ新律綱領ガ出テ居ツテ、ソレ
カラ後「ドイツ」法的ノ刑法ヲ拵ヘテ居ル、
殊ニ民法ニ至ツテハ條約改正ヲヤラナケレバ
ナラヌカラ、外國人ノ關係カラ急イデ拵ヘ
タノガ民法デアアル、サウ云フ譯デアリマス
カラ、此ノ民法ヲ見マスト或意味ニ於テ「ド
イツ」法ノ引寫シデス、「ドイツ」法ヲ眺メ
テ見レバ分ル、是ハ「ドイツ」法ノ方ガ日本
ノ民法ヨリモ餘程具體的ニ書イテアル、私
ガ非常ニ惡口ナコトヲ申シマス、當時
急イデ立法スル爲ニ先ヅ「ドイツ」民法ヲ眺
メテ、分ツタモノダケ引拔イテ居ルノガ日本
民法デアアルト斷言シテ宜イト思フ、「ドイ
ツ」民法ハ綿密デ、「ドイツ」民法カラ抜カ
シテ居ル所ニナカレバ「良イ所ガアル、當時
日本デハ分ラナイカラ分ル所ダケ抜イテ、
日本民法ニシタト云フコトハ斷言シテモ
宜イト思フ、サウ云フ關係デアリマスカラ、
ドウシテモ土地ノ永久ノ施設ト云フコトヲ
考ヘルナラバ私ハ「ドイツ」ノ「グランド・シェ
ルド」、「レントン・シュルド」ト云フヤウナコ
トヲ考ヘテ行カナケレバ土地ノ本當ノ保護
ハ出來ナイト思フ、ソレハ政府委員モ同感デ
アラウト思フ、例ヘバ私ハ決算委員トシテ
經驗シタコトデアアルガ、鳥取、島根兩縣ニ
對シテ、災害復舊ノ爲ニ……是ハ坊城男爵
ト一緒ニ審議シタノデスガ、農林省デ補助
シタ、ソレガ使ヒ切レナクテ、甚ダ宜クナ
イト云フノデ、政府ニ將來ノ注意ヲ求ムル
意味ノ決議ヲシタノデスガ、其ノ原因ハ何
處ニアルカト言ヒマスレバ、ソレハ補助ヲ
スルノハドウ云フコトニナルカト云フト、
實際農地ヲ耕作シテカラ其ノ結果ニ付テ
補助スルト云フコトニナツテ居ルノデアリ
マシテ、其ノ結果ト云フモノヲ生ム爲ニ

ハ、其ノ災害地ノ復舊ノ爲ニ資本ガ要ルノデアアル、其ノ資本ニ付テノ色々ノ考慮ガ矢張り農地ニ關スル法制ヲ非常ニ能ク整ヘテ居レバ私ハ出來ルト思フ、例ヘバドウ云フコトカト云フト、農産物ノ保險、是ハ大臣モ初メカラサウ云フコトヲ主張サレ、私モ主張シテ、アア云フモノガ出來タノデアリマシガ、處ガ農業保險ト云フモノハ農産物保險デアアル、決シテ農地保險デハナイ、私ハ日本ノ如キ國ハ日本デ初メテ水田ニ關スル保護ノ方法ヲ確立スベキモノデアルト私ハ思フ、デ私ノ言フ意味カラ言ヘバ農地保險ガ必要デアアル、土地其ノ物ノ保險ガ必要デアアル、災害ニ罹カリマシタナラバ、ソコガ流レルカモ知レヌト云フコトヲ見テ、ソレニ對シテ政府ガ保險料ヲ拂ッテヤレバ、其ノ保險料デ農地ノ復舊工事ヲヤレバ宜イ、サウスレバ宜イノヲ農地保險ト云フコトヲ考ヘズニ、農産物ノ保險バカリシテ一段歩ニ付テ十圓ト云フヤウナ保險ヲヤツテ居ルノデハ、私ハ農地ニ適切デナイ、親切デナイト云フコトヲ考ヘル、ソコデモウ一ツハ、折角農地ヲ開發シテモ、非常ニ必要ナコトハ肥料ノ問題デス、是ハモウ各委員ガ仰セラレテ居ル、肥料ニ付テハドウシテモ農民ト云フモノハ金肥ヲ使ヒマス、ソレハ出來ルダケ自給肥料ト云フモノヲ獎勵シナケレバイカヌ、デ自給肥料ヲ獎勵スルニハ自給肥料ガ永續的ニ確實ニ取得サレルコトヲ考ヘナケレバイカヌ、ソレニ關係スル法律ハ何處ニ在ルカト言ヘバ、民法デハ入會權ニ關スル規定デアリマス、此ノ入會權ニ關スル規定ハ民法ヲ作ツ時ニ分ラナカッタノデス、起草委員ガドウシテモ分ラナイモノデスカラ、民法ニ於テ共有ノ性質ヲ

有スル入會權ト云フモノト、共有ノ性質ヲ有セザル入會權ト云フモノニ區別シテ、自分ガ分ラナイ爲ニ民法ノ二百六十三條ニ於テ、共有ノ性質ヲ有スル入會權ニ付テハ各地ノ慣習ニ從フ外本節ノ規定ヲ適用ス、各地ノ慣習トハ何カ分ラナイ、慣習ノ規定ハドウ云フ風ニ適用サレルカ分ラナイ、起草當時ノ人ハ皆分ラナイト言ッテ居ル、ダカラ地益モサウデス、地益權ノ所ニアアル、二百九十四條ニアアル、共有ノ性質ヲ有セザル入會權ニ付テハ各地方ノ慣習ニ從フ外本章ノ規定ヲ適用ス、斯ウ云フコトニナル、此ノ入會權ト云フモノハ共有ト地益ト云フコトトニ先ヅ分ケタ、併シナガラゾレダケ宜イカドウカ分ラナイ、ソレハ入會權ニ關スル色々各地ノ慣習ナリヲ、何處デ調べタモノガアルカト云フコトヲ伺ッテ、ソレヲ見セテ呉レト言ヘバ困ラレルダラウ、ソレガナクシテ何ノ立法ガ出來ルカ、入會ノコトガ調テ初メテ村ノ者ガ入ッテ荒ラサナイコトニナルノデアリマス、ソコデ長ク草ガ取レル、草ノ問題デモ日本ノ民法ハ今申シタヤウナコトデ適切デナイ、例ヘバ家畜ガ草ヲ踏ムト云フコトニナレバ、ソレニ對シテ損害ガ起ル、是ハ日本デハ想像出來ナイノデスガ、大陸ノ立法ニハサウ云フコトガ考ヘラレル、家畜ニ對スル損害ノ立法デアリマス、日本デハソナナコトヲ何カ、獅子ガ子供ヲ食ッタト云フヤウナコトハアルガ、ソナナコトニハ適用出來ルガ、農業ヘノ適用ト云フコトハナイト思フ、例ヘバ「ロシア」ニ行ケバ「ボトラバ」ト云フヤウナ草ノ法制ガ出來テ居ル、ソレハ草ヲ家畜ガ踏ムト云フ特別ナ法制ガ出來テ居ル、ソレノ皆土地ノ事情ニ付テ出來テ居ル、ソレデ草ニ付テ、家畜ヲ

放牧スルト、家畜ガ喰フ分量ト足デ踏ム分量ガドノ位ニナルカト云フコトデ、ソレヲ蹄傷ト謂ッテ居リマスガ、其ノ蹄傷ガドノ位アルカト云フコトニ依ッテ土地ノ利用關係ト密接ナ問題ニナル、サウ云フコトガ農林省デハ立法ガナイ、ソレカラ坊城勇爵カラ水利ニ付テノコトヲ言ハレタガ、ソレモサウデセウ、耕地整理ヲシテ、後デソレヲ維持シテ行カナケレバナラヌ、又耕地整理法ニドウ云フコトガ書イテアルカト云フト、耕地整理ガ出來テ、ソレノ維持ダケヤルト云フ規定デアリマス、併シナガラ耕地整理法ニ依ッテ、サウ云フコトヲヤッタモノヲ維持スルノハ耕地整理組合デヤルコトハ不適當デアルコトハ當然デ、ソコデ内務省ニ水利組合ト云フモノガアル、水利組合ハ内務省デヤツテ居リマス、是ハ私ハ農地ガスカリ出來上ッテシマッテカラハ農林省ニ於テヤラナケレバナラヌト思フガ、近頃ノ水利組合ト云フモノハ水害豫防組合ト共ニ内務省ノ所管デアアル、私ハ所管ヘドウデモ宜イト思フガ、サウ云フ風ニ法制ノ整ハヌ所ガアル、農業水利ニ付テノ眺メ方ガ今日ノ民法、刑法ニ重點ヲ置イテナイト思フ、ソコデ道路ニ付テモ國道ト云フモノガアリ、府縣道ト云フモノガアリ、町村道ト云フモノガアル、サウスルト水利ニ付テモサウ云フヤウナ考ヘ方ヲシナケレバナラヌト思フ、ソコデ内務省ヘドウ云フコトヲヤツテ居ルカト云フト、國營ノ大キナ河川工事ハ内務省デヤツテ、中河川迄ハ内務省デヤツテ居ル、小河川ニナルト農林省ノ用排水幹線工事ト云フノデヤツテ、イツモ衝突ヲスル、何ガ用排水幹線、何ガ小河川デアアルカト云フコトガハッキリ分ッテ居ナイ、サウ云フコトノ法制ガ整ッテ居ナイ、私

ハ内務省デヤル大河川ノ工事ト雖モ、一體洪水ハ何カト云フト、灌溉ノ、田ニ供給スル水ガ多過ギルコトガ洪水デ、大灌溉ガ大洪水デアアル、旱魃ト云フコトハ大排水デアアル、自然的大排水ヲスレバ旱害ト云フコトガ起ッテ來ル、サウ云フコトハ内務省ノ河川ト農林省ノ灌溉排水ノ末梢トハ一貫シタ問題デアアル、サウ云フヤウナコトハ私ハ實際ノ問題カラ云ヒマス、今日ノ日本ノ法制ノ立法ガ非常ニ宜クナイト思フ、私ハ本當ニ平生カラ言ッテ居ルノデスガ、今司法省デ何ヲ考ヘテ居ラレルカト云フト、民事刑事ノ根本法ヲ考ヘテ居ラレル、是ハ大變結構ト思フガ、例ヘバ商法ト云フコトニナルト、僕ハ商工省ノ所管デアルト思フ、手形ヲ昔カラ云ツテ居ルノデアアル、處ガ商工省ニ頼ンデ商法ガ出來マスカ、農地法ガ農林省デ出來ルカト云ヘバ出來ナイ、農地法ハ民事刑事ヲ通ジタモノデアアル、サウ云フコトハ今ノ農林省デハ出來ナイ、ソコデ民法ハ内務省デヤルベキモノデアルト思フガ、内務省デハ出來ナイ、ソコデ止ムヲ得ズ司法省デ引受ケテ、民法ト刑法ヲ引受ケテヤツテ居ル、商法デモ商工省デヤレヌカラ司法省デヤツテ居ル、サウスルト農地法ト云フヤウナモノハ司法省デ擔任シナイト出來ナイコトニナルト思フ、何故カト云フト農林省ハ日常ノ仕事ガ忙シイ、例ヘバ茲ニ小作爭議ガアツテ、其ノ小作調停官ト云フモノハ誰ガヤツテ居ルカト云ヘバ司法省ノ司法官デアアル、是ガヤツテ居ル、裁判所ニ居ル練達ノ士ガヤツテ居ル、是ハ新潟縣ノ新發田ノ區裁判所ノ判事ハ非常ナ貢獻ガアリマシタ、處ガサウ云フヤウナ小作調停ノ經驗カラ生レ

タ立法ト云フモノハ、是ハ司法省ガヤラナケ
レバイカヌト思フ、是ハ「イギリス」デハ「デ
ヤヂメント・ロー」ト云ウテ不文法ト謂テ
居ル、ソレカラ皆法律ガ生レル、ソレハ判
事ガ法律ヲ作ルノデヤナイ、「イギリス」ノ
如キハ不文法デスカラ、法律ハ國民ノ中カ
ラ生レテ來ルモノヲ判事ガ宣言スルノデア
ルガ、形ヲ見レバ「デヤヂメント・ロー」ニ
ナル、決シテ裁判官ト云フモノハ法律ヲ作
ルモノデヤナイ、國民ガ自然ニ作ラヌヲ宣
言スルノデアルカラ、日ト共ニ新タニスル
ノガ不文法ダ、成文法ト云フモノハ、ドウ
シテモ判事ガ自己ノ判決ノ結果斯ウ云フ法
律ヲ作ラナケレバイカヌト云フコトヲ言ハ
ナケレバナラヌト思フ、今日經濟ノ統制ノ
關係デ、是ハ赤池君ガ貴族院ノ本會議議デ
大ナル法令ガ出テ居ルト云フコトヲ注意サ
レテ、斯クノ如キ大ナモノハ自分デモ分
ラナイ、アレヲ判決スル場合ニ裁判所ハ分
ラナイト思フ、澤山ナ法令ヲ集メテ見テ裁
判官ガ必ズ判決ニ困ルト思フ、ソコデ元ハ
大憲院デ現行法デナイモノヲ適用シテ、ソ
レデ判事ガ退職シタコトガアリマス、處ガ
其ノ際ハ退職スル方ガラカシイ、ソナナム
ヅカシイコトデヤナイ、今日法制局ナリ、
内閣ノ記録デモヤツテ居ルヤウニ、其ノ日其
ノ日デ法律ヲ整理スレバ、一目瞭然デア
ルニ拘ラス、其ノ當時ハ大憲院デヤツテ居
ラナカッタカラ、ア、云フ失態ヲ招イタノ
デア
ルガ、今日ハ失態モナイ、今日ハ迎モ出來
ナイ、私ガ見テモ分ラナイ、私ハ米ノコト
ニ付テハ非常ニ研究シテ居リマスケレドモ、
米穀ノ配給統制法カラ來ル罰則ト、ソ
レカラ動員法カラ來ル罰則ト矛盾シテ
居ル、是非非常ニ細カキコトニナルカラ私

ハ言ヒマセヌガ、斯ウ云フ矛盾シタ法制、
ソレヲ深切ニサウコトヲ考ヘル人ハナイ、
サウ云フ場合ニ於テ司法省ハドウ云フ態度
ヲ執ツタカト云フト、今度刑法ノ改正ヲ
ヤツテ、綜合的ニ此處ハウマク片附ケテ居
ル、此ノ經濟ニ關スルモノヲ纏メテヤツ
テ居ル、是デ大抵間ニ合フ、マアチッボケ
コトハ片附ケル必要ハナイガ、是ハ或意
味ニ於テ判事ガ法律ヲ作ラト云フテ宜イ
ト思フ、裁判所ガ何トカ勵行シナケレバナ
ラズデヤナイカト言ハレマスガ、是ハ司法省
デ考ヘタノダラウト思ヒマス、是デ或程度
片附ケテ居ルノデアツテ、是ハ立法トシテハ宜
イデセウガ、ソコニ成ルタケ分ラナイ法律
ヲ出サレタ爲ニ、由ラシムベシト云ウテモ、
何ニ由ルノダカ分ラナイト云フヤウナ、
斯ウ云フ紛糾シタ法律状態ヲ國民ノ前ニ展
開シテ居ルト云フコトハ、私ハ昭和ノ御代
ノ恥辱ダト思フ、斯ウ云フヤウナ意味ニ於
キマシテ申シマス、ドウシテモ裁判所ノ
方デ逆ニ行政官ヲシテ改メサセナケレバ
イカヌ、例ヘバ今度ノ色々ナ裁判所ノ事例ガ
アリマス、茲ニ裁判所ガ經濟犯ヲ判決シマ
ス、サウスルトドウ云フ判決ノ仕方ヲサレ
テ居ルカト云フコトヲ仔細ニ見マス、例ヘ
バ關取引ヲシテ儲ケマス、儲ケタ金額、又
ハソレヨリ下ノモノヲ追徴金ニ取ツテ居
マス、ソレハ私ハイカヌト思フ、裁判ノ判
決ヲ茲ニ批判スレバドウシテモソレハ追徴
金ト云フモノハソレデ宜イケレドモ、其ノ
以上ニ、追徴金ト謂ヒマスカ、何カ罰金デ
ス、其ノ罰金ハ其ノ以上ノモノヲ取ラナケ
レバイカヌ、却テ痛クモナイヤウナ判決ガ
シテアル、ソレハドウ云フ意味カト云フト、
裁判官ノ心理状態ヲ私ハ少シ反映シテ居ル

ト思フ、ソレハ規定ガ無理ダ、裁判官ハ是
ハ無理ナ規定ダト思フカラ、判決スル時ニ
ソコニ生キタ判決ヲ適用シテ居ル、ソレハ
同時ニ逆ニ、斯ウ云フ經濟法規ハイカヌト
云フコトヲ言ハナケレバナラヌ、是ハ裁判
所ハ言ヒマセヌ、司法省ハ司法行政ヲヤツ
テ居ルノダカラ、ソレヲ見テアタノ方カラ
注意シテ鞭撻シナイト云フト、混沌タル法
律ヲ出シテ……私ハ後デ營團ニ付テノ質問
致シマスガ、非常ニ是ハ缺點ダラケノ法律
デアルト云フコトハ急イデ拵ヘテ居ルカラ
ダ、ソレデ今翼賛議會デアラカラ急イデヤ
ラナケレバナラナイト、慌テテ間違タモノヲ
出スト云フコトハ、政府モ考ヘテ居ナイ、
我々モ考ヘテ居ナイ、急イデガ爲ニ無茶ナ
法律ヲ出スト云フヨリ、急ガナイデ良イ法
律ト云フノガ國民ノ要望デアルト思フ、處
ガ不幸ニシテ形ハ急イデ缺點ダラケノ法律
ヲ纏メテ居ルト云フコトニ國民ハ感ズルト
思フ、私モサウ云フ感ナキヤト云フコトヲ
伺ツテ居ル、サウ云フ譯デアアルカラ、法制
局ハ司法省デシツカリトシナケレ、バイケ
ナイト思ヒマス、元來法制局ガシツカリシ
テ居レバ宜イ、法制局モ司法省モ今日ハ、
モウ少シシツカリシテ貫ハナケレバナ
ラヌト思フ、サウ云フ意味ニ於テ今日質問
シテ居ル譯デアリマス、ソレハ前半ニ對
スル問題デアリマス、次官ハ御急ギデ
スカラ、次ハ營團デスガ、是ハ民事局長
デ結構デス、刑法ニ關係シマシタ前半ノ
所ヲ司法次官カラ御答ヘ願ヒマ

アルコトニ付キマシテハ、只今御言葉ノ通
リデアリマシテ、此ノ弊ハ出來ルダケ改
メナケレバナラナイト思フ、居リマス、唯
何分ニモ實情ヲ申上ゲマス、御話ノ所謂
農地法、農地ニ關シマスル法制ハ、御話
ノヤウニ古來カラ定ツタ傳統習慣ト云フ
モノガゴザイマシテ、ソレニ則テ從來ヤ
ツテ參リマシタノデアリマスガ、扱テ
是ガ一ツノ法規ト云フ規範ノ下ニ統合
セラレルコトニナラマス、ナカノ各
地ノ傳統、習慣等ガ同一デアリマス
セヌ爲ニ一律ニハ行カナイト云フコト
モゴザイマシタシ、其ノ他只今御言葉
ニアリマシタヤウニ民法刑法ヲ急速ニ
制定スルト云フ必要モゴザイマシタ
關係上、出來上リマシタ民法刑法ガ農
地關係ニ十分満足ヲ與ヘナカッタト云
フコトニ付テハ、或程度迄承認シナケ
レバナイ點ガアルト思フノデアリマス、
併シ此ノ農地關係ノ法律關係ヲ整理
致シマスコトハ、是ハ同ジ立法ノ中
デモ最モ困難ナル部門ダト思フノデア
リマス、殊ニ時代ガ變リ、經濟狀況ガ
ドンドン變ツテ參リマシタ際ニ、之ヲ
一律ニ一ツノ型ニ嵌メヨウトスルコト
ハ、却テ混亂ヲ増スモノニナルノデア
リマシテ、其ノ點ハ慎重ニ考ヘナケ
レバナラナイト思フノデアリマス、併
シ追々ニ各地ノ習慣ナリ傳統等ナ
リ、又其ノ外新タニ生レタ所ノ色々
ナ制度ガ順次ニ咀嚼サレマシテ、其ノ
結果、段々ニ其ノ法規ガ一部々々段々
ニ整理セラレタト云フノハ御覽ノ通
リデアリマシテ、私ハ今カラ二十年カ
ラ前ニ小作制度調査會ノ委員ヲ致シ
テ居リマシタガ、アノ當時ニ於テ今日
ノヤウナ農地調査法或ハ農地開發法
ガ出來ヨウトハチヨットアノ當時ニ
於テハ豫想シ得ナカッタ次第デアリ

マシタガ、段々ニサウ云フムヅカシイコトガホグレテ参リマシテ、幸ニ農地開發法或ハ農地調整法ト云フモノガ段々出來ルヤウナ氣運ニナツテ参リマシタ、是ハ矢張り其ノ時々ノ段々氣運ガサウナツテ來タノデ、其ノ氣運ニ乗ジテ、斯ウ云フ風ニ著々法律ガ出來タノデアリマシテ、一時ニ拵ヘヨウト云フコトハ恐ラク其ノ時代ガ許サナカッタノデハナイカト考ヘルノデアリマス、併シ斯ウ次々ニ出テ参リマシテ、農地關係者トシテハ甚ダ不便デアルト云フコトモ考ヘラレマスノデ、恐ラク此ノ動キガ或一點ノ飽和點ニデモ達シマシタ時分ニハ、必ズヤ統合セラレタル農地關係法規ト云フモノガ出來ナケレバナラスシ、又ソレハ出來ルベキデアラウト思フノデアリマス、ソレニ付キマシテハ、只今御言葉ニアリマシタヤウニ、

現在行テ居リマス小作調停ノ實例、又各裁判所ニアリマス判例等ニ付テ、段々ニ制度ガ完備シテ行クコトモ考ヘラレルノデアリマス、ソレニ付キマシテハ、是ハ近年ニ於キマシテハ判事ヲ屢、會同致シマシテ、其ノ判事ノ實務上ニ得テ收獲ト申シマスカ、即チソレノ實例等ヲ集メマシテ、サウシテ他日ノ法律改正ノ資料ヲ蓄ヘテ居ルノデアリマシテ、ソレガ段々ニ法律ニナツテ行ク本ニナルト御承知ヲ願ヒタイ、左様ニシテ段々ニ今御話ノ氣運ガ一面ニ芽生ヘテ参リマス、地面ニ付イタ法律ガ段々出テ來ル、ソレガ段々ニ萬遍ナク廻リマシタ所デ、此處ニ一大農地法ト云フモノガ出來テ、サウシテ誰モ安シテ農地ノ關係ト云フモノヲソレニ依ツテ決メルコトガ出來ル、斯ウナリマスコトハ、實ハ民衆ノ爲バカリヂヤアリマセヌ、裁判官ガソレニ依ツテ一番便宜ヲ

受ケル譯デアリマス、私共實ハ、先程水利ノ御話ガアリマシタガ、私刑事裁判官トシテ水利ノ事件ヲ二三扱ヒマシタガ、コンナニ面倒ナ、コンナニ分ラナイモノハナイト云フコトヲ必ミノ感ジタノデアリマシテ、今御言葉ヲ承リマシテ、全く御言葉ノ通りデ、何トカ此ノ水利ノ事等ハ、我々ニスラモハッキリ分ラナイモノヲ、モットハッキリサセテ戴キタイト云フコトヲ必ミノ感ジタノデアリマス、左様ナ次第デアリマシテ、司法省ハ決シテ熱意ノナイ譯デヤゴザイマセヌノデ、現ニ小作調停ト云フ、謂ハバ農地關係ノ一翼ヲ實ハ受持ツテ居リマス責任モ非常ニ重大ニ感ジテ居リマス、ソレ等ノ關係上、是等ノ事務ノ上カラ行キマシテモ、農地法ノ完全ニ出來ルコトヲ熱望致シテ居リマス、唯御承知ノ通り、マダ時代ハ動イテ居リマスノデ、ドウモ今直グニ此處ニ統合シタモノヲ拵ヘルト云フコトニナリマス、果シテサウ云フ時代デアルカドウカト云フコトハ尙マダ能ク研究シナケレバナリマセヌケレドモ、其ノ準備ハ決シテ怠ラナイ積リデアリマス、現ニ民法ニ付キマシテ申上ゲマス、親族、相續ニ付キマシテハ、近ク議會ニ提案致シマシテ、新シキ法律ガ脚光ヲ浴ビルヤウニナルト思フノデアリマス、何レ又其ノ事業ガ濟ミマスレバ、引續イテ民法ノ他ノ部門ニ付テモ之ガ調査研究ヲ致サナケレバナリマセヌ、追々ニ此ノ方面ニ付テハ司法省ハ勿論農林省ト協力致シマシテ、出來ルダケ御希望ニ副フヤウニ致ス積リデアリマスシ、現ニ著々其ノ準備ハ心掛ケテ居ル次第デアリマスカラ、ドウカ左様御承願ヒタイト思ヒマス

○松村眞一郎君 只今ノ御答ニ依リマシテ、隨分ニ是カラカヲ入レラレルコトデアリマセウシ、今迄モカヲ御入レニナツテ居ルヤウデアリマス、私ハ前ニ司法大臣ノ鹽野サシニ、農地調整法案ノ時カト思ヒマスガ、日本ノ固有ノ制度、日本のナモノニ付テノ法制ヲ固メル必要ガアルト云フコトヲ、私ハ痛切ニ御話シタノデアリマス、サウ云フヤウナ形ガ其ノ後出來テ、著々進ンデ居ルヤウデアリマスガ、其ノ方ニ餘程力ヲ入レテ戴キタイト思フ、何故カト云フト、現在ノ法律ハ模倣立法デアアル、モウ日本ハ日本のニ出發シテ、ソレカラ外國ノ方ヲ眺メルト云フ逆ノヤリ方ヲヤラナケレバナラス、元ハ外國ノ法律ニ立ツテ日本ヲ眺メテ居タ、ソレヲ逆ニヤラナケレバナラスト思フ、其ノ點ヲ御考ヲ願ヒタイ、ソレカラ今ノ小作調停ニ依ツテ、又ソコニ小作立法ノ改正ガ生レテ來ルト思ヒマス、今アナタノ御話カラ承ツテモ……、ソコデ私ハ先程申上ゲマシタヤウニ、農地其ノモノヲ眺メタイト云フコトガアルノデスカラ、私ノ申スノハソレハ物權關係デス、ソレハ物權ノ中ノ所有權ノ享有者ノ規定ト云フ所ニモナカク、足ラナイ所ガアル、上カラ流レテ來ル水ヲドウヤルトカ、排水ノ關係ト云フモノハ、農業ノ見地カラ見ルト、サウ巧みなモンデナイ、ソコデソレニ對シテ考フベキコトハ、能ク俗語ニ我田引水ト云フコトガアル、是ハ國民モ知ツテ居ル言葉デス、所ガ新潟縣デハ我田排水デス、我田排水ガ法律上ノ問題トシテ起ツテ來ル、ソレハ裁判官カラ私ハアテラヘ出張シマシタ時ニ聽イタ、ソレハ直グ農地ノ制度ニ映ツテ來ルベキ立法ニナル譯デアリマスカラ、裁判官ハ私ニ教ヘテ呉レマシタケレドモ、ソレハ立法ニナツテハ出テ來テ居

○委員長(伯耆黒木三次君) 松村君ニ伺ヒマスガ、モウ司法省ノ方々ニハ御退席ヲ願フテ宜シウゴザイマスカ

○松村眞一郎君 司法次官ハ御忙シイコトデアリマスカラ……今ハ刑事ノ關係ガアリマシタカラ、司法次官ノオイデヲ願フコトヲ必要トシタノデアリマスガ、今度ハ民事デアリマスカラ、民事局長ノ御答デ結構デアリマス、私ハ此ノ法案ヲ眺メマシテ、農地開發營團ト云フモノガ茲ニ此ノ法制ニ依ツテ生レルト云フノデアリマス、今度ノ議會ノ政府ノ動キヲ見マス、農地營團ト云フモノガアリ、帝都高速度交通營團ト云フモノガアリ、尙又住宅營團ト云フモノガアリ、營團ト云フモノヲ今度新シク立法形式トシテ出シテ來マシタ、私ハ其ノ營團ノ本質ガ甚ダ不明確ト思ヒマスカラ、其ノ意味ニ於テ民事局長ニ御尋ネ致スノデアリマスガ、先ツ營團ハ是ハ營利法人デアルト考ヘマシタルガ、如何デスカ

○政府委員(坂野千里君) 御尋ノヤウニ、今度ノ議會ニ提案サレテ居リマスノハ、帝都高速度交通營團、住宅營團、農地開發營團デ、此ノ營團ノ性質ト云フコトニナリマス、此ノ營團ト云フモノハ、要スルニ世運ノ推移、時勢ノ進展ニ伴ヒマシテ、實際ノ必要カラ出テ参リマシタ特別ナ法人ナリデアリマシテ、申サバ所謂中間法人、斯

様ニモ申セルノデヤナイカト思ヒマス、デ
只今松村サンカラ營利法人デアルカドウデア
ルカト云フヤウニ分ケテ御尋デアリマスガ、
此ノ性質ヲ申上ゲルニハ、一應總テニ互ツテ申
上ゲタ方ガ連絡ガ附クンデヤナイカト思ヒ
マスカラ、モウ少シ進ンデ色々ニ互ツテ迄
申上ゲタイト思ヒマス、ドウカ御了承願ヒマ
ス、此ノ營團ハ御覽ノヤウニ公共的色彩ガ非常
ニ強イノデアリマスガ、其ノ事業ハ國家ノ統
治權ヲ委任サレテ居ル、或ハ國家ノ目的ヲ
遂行スルコトヲ其ノ存在ノ目的トスルモノ
トハ考ヘテ居リマセヌデ、矢張り私法人ダト
考ヘテ居リマス、又此ノ活動ノ、事業ノ性
質ニ依リマシテハ、營利行爲ヲ爲ストモ見
ラレルノデアリマス、ガ併シ營利行爲ヲ致
シマスガ、株式會社トハ相當違フ所謂此ノ
頃言ハレル國策會社、特殊ノ株式會社トハ
之モ亦稍、違フノデアリマス、デ株式會社ノ
形態ヲ取リマス場合ハ、其ノ經營ノ原則ハ、
何レカト申シマスレバ、利益ヲ獲得シテ之
ヲ社員タル株主ニ分配スルコトヲ主トスル
ヤウニ考ヘラレル傾ガアリマス、デ株式會
社デアリマスト云フト、ドウシテモ社員ヲ
以テ構成要素トスル社團デアアル、資本ハ多
數ノ株主カラ出金セシメ、議決機關トシテ
ハ株主總會ガ設ケラレテ會社ノ組織其ノ他
ニ關與スルコトニナツテ居ルノデアリマス
ガ、今度ノ營團ニ於キマシテハ、先程モ申
上ゲマシタヤウニ事業ノ性質ガ非常ニ公共
性ガ強イモノデアリマスカラ、其ノ經營ハ
株式會社ノヤウニ利益配分ヲ主トスルヤウ
ナコトハナイノデアリマシテ、唯事業ノ實
績ニ鑑ミマシテ、社員ヲ以テ構成要素ト致
シマス社團法人トシテ、總會ヲ設ケテ法人
ノ組織其ノ他ニ關與セシメルト云フヨリモ

一定ノ資本金トカ其ノ他ノ財産ニ對シテ法
人格ヲ認メル、寧ろ社團法人ヨリモ財團法
人ノヤウナ色合ガ非常ニ強イモノデアアル、
斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、其ノ理
事等ノ機關ノ選任其ノ他ハ政府ノ特別監督
ノ下ニ於テ事業ヲ經營サセル方ガ適當ダト
考ヘテ居ルモノデアリマス、要スルニ稍、中
間ノ法人デアリマシテ、今迄ノ法人ノ類
別カラ見マスト云フト、ドチラニモ入ラナ
イト云フコトニナルノデアリマスガ、寧ろ
色彩ハ私法人デアツテ、而モ社團法人ヨリモ
財團法人ニ近イモノデナイカ、斯様ニ考ヘ
テ居ル次第デアリマス

○松村眞一郎君 財團法人ト云フモノハ民
法デハ公益法人ナンデス、ソレデアルト云
フト、今ノ政府委員ノ御意見ハ、公益法人
ニ近イト云フコトノ御考ト解釋シテ宜シウ
ゴザイマスカ

○政府委員(坂野千里君) 御尋デゴザイマ
スカラ、其ノ點ヲ申上ゲマス、其ノ點モ要
スルニ營利法人ト公益法人ノ中間ノヤウナ
性質ヲ持ッテ居ルヤウニ考ヘルノデアリマ
ス、民法上ノ公益法人ニナリマスト云フ
ト、是ハマア之ト比較致シマスト、共ニ公
益ノ目的ノ爲ニ、或點ハ大體同様ナノデア
リマス、此ノ營團ノ事業ノ性質ニ鑑ミマ
シテ、民法上ノ財團デアアル公益法人トハ異
タ國家ノ特別ノ保護ト監督ノ下ニ立ツコト
ガ必要ナノデアリマス、又民法上ノ財團デ
アル公益法人ト較ベテ異ツタ活動例ハ、事業
ノ經營ヲヤル、出資金ニ對スル配當ヲ爲ス
ト云フヤウナ一部恰モ營利ヲ目的トスルヤ
ウナ行爲モ認メラレテ居ルノデアリマス、
マア強ヒテ申上ゲレバ營利法人トハ公益法
人ノ中間ノヤウナ性質、斯ウ申上ゲル譯デア
リマス

○松村眞一郎君 ソレガ私ハ分ラナイノデ
ス、營利ト公益ノ中間ト云フコトニナリマ
スト、斯クノ行爲ハ公益的デアアル、斯
ク斯クノ行爲ハ營利的デアアルト云フ分析ヲ
シナケレバイカスト思ヒマス、今爲ス所ノ
行爲ガ公益ト私益ノ中間ト云フコトハ判斷
出來ナイ、例ヘバ茲ニ出資金ヲ爲ス場合ニ、
公益ノ爲ニ出資ヲ命ズルノカ、私益ノ爲ニ
命ズルノカ、公益ト私益ノ中間ノ目的ト云
フモノハナイト思フ、中間ノ目的ト云フノ
ハドウ云フ意味デスカ、中間ノ法人ト云フ
モノハ私ハナイト思フ、中間ノ法人ト云フ
コトハ結果カラ申スノデアツテ、此ノ行爲、
此ノ行爲ハ營利的法人ト同ジコトヲヤル、
此ノ行爲、此ノ行爲ハ公益的法人ト同ジコ
トヲヤル、ガカラ綜合シテ中間法人デアアル
ト云フコトハ宜イケレドモ、行爲ハ總テ中
間行爲ト云フモノハナイト思フ、今アナタ
ノ言ハレタ所ノ出資ヲスルト云フノハ營利
行爲デス、私ハサウ思ヒマス、ドウ云フ意
味ニ於テノ中間デアリマスカ

○政府委員(坂野千里君) 其ノ法人ガ中間
的ノ性質ヲ持ッテ居ルト云フコトヲ申上ゲタ
ノデアリマシテ、其ノ中ニ營利的ノ行爲モ
アリ、活動モ許サレテ居ル、又公益的ノ事
業モ致シテ居ル、斯様ニ申上ゲタノデアリ
マス

○松井眞一郎君 ソレデアリマスト、此ノ
「的」ト云フ字ガ私ハ實ニ分ラナイノデス、的
ト云フコトヲ言ツタンデハイケナイ、公益
カ私益カ、公務的行爲デ非ザルカ、或行爲
ハ公益デアアル、或行爲ハ私益デアアル、是ハ
分離シマス、此ノ行爲ハ公益行爲デアアル、
此ノ行爲ハ私益行爲デアアルト云フコトニシ

ナイト、徹底的ニ監督モ何モ出來ナイト思
フノデス、此ノ意味ニ於テ此ノ法人ハ公益
行爲ヲスル、私益行爲ヲスル、故ニ中間法
人デアアル、斯ウ云フコトデアアルベキ管デア
ルト思ヒマスガ、如何デスカ

○政府委員(坂野千里君) 御意見ノ通りダ
ト思ヒマス

○松村眞一郎君 サウ致シマスト、私考ヘ
マスノニ、凡ソサウ云フ中間法人ヲ拵ヘテ、
跡始末ヲ付ケナイト云フ立法ト云フモノハ
私ハ宜クナイト思ヒマス、ソレハ十五條ヲ
見マスト、「農地開發營團ニ付解散ヲ必要
トスル事由發生シタル場合ニ於テ其ノ處置
ニ關シテハ別ニ法律ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フ
コトハ、是ハ何ノ事カト云フコトヲ言ハザ
ルヲ得ナイ、凡ソ法人ヲ作ッテ置イテ尻拭
ヒヲシナイデ……其ノ法律ガ、ドウ云フ法
律ヲ作ルカト云フコトニ依ツテ、出資ノ跡始
末ヲ分ケル譯デアリマス、出資シタ金ヲ解
散シタ場合ニ何處ニ持ッテ行クカト云フコ
トニ依ツテ、其ノ法人ノ性質ガ分レテ來ル、
ソレハ公益法人ノ終局ハ國庫ニ歸屬スル、
是ハ民法ニ書イテアル、私益法人ハ解散シ
テ返シテシマフ、ソレハ非常ニ重大デアリ
マス、此ノ法人ハ跡始末ノ場合ニ出資金ヲ
ドウスル積リデアアルカト云フコトヲ決メナ
イカラ、十五條ノ如キ法律ガアルト思ヒマ
ス、若シ之ヲ返サナイト云フコトニナルト
云フト、……今度出資スル者ハ聽ク處ニ依
レバ、是ハ後デ農林省ノ政府委員ニ聽ク積
リデアリマスガ……此ノ際農林省ニ伺ヒマ
ス、此ノ營團ノ出資者ハ誰デスカ

○政府委員(周東英雄君) 只今計畫ヲ立テ
テ居リマス出資者ノ具體的ノ者ハ、日本勸
業銀行ト産業組合中央金庫ヲ考ヘテ居リマ

ス、併シ營團ノ目的ヲ能ク知ツテ趣旨ニ贊成シテ、出資ヲシタイト云フ者ガアレバ、ソレヲ拒ム趣旨デハアリマセヌガ、大體計畫ト致シマシテハ、只今申上ゲタ二者ヲ考ヘテ居リマス

○松村眞一郎君 其ノ御答辯ハ私ハ要領ヲ得ナイト思ヒマス、營團ノ性質ヲ知りテ出資ヲスル者ハ拒マヌト言フガ、其ノ性質ガ分ラナイカラ出資スル譯ニ行カナイ、知ル者ハナイ、跡始末ガドウナルカ分ラナイノニ金ヲ出ス人ガアリマスカ、私ハナイト思ヒマス、今ノ御話デアルト、勸業銀行ト産業組合中央金庫ト云フコトニナルト、金ハ返サナクチャイカス、勸業銀行ハ株主カラ金ヲ出シテ居ル、株主ガ出シテ居ル金ヲ此ノ營團ニ出資シテ置イテ後ニ返ツテ來ナイ、國家ニ歸屬スルンダ、サウナレバ、勸業銀行ガ金ヲ出スコトノ出來ナイノハ當然デアリマス、株主ヲ持ツテ居ル勸業銀行ハヤルコトハナイ、サウシタナラバ、此ノ出資金ハ解散ノ時ニハ財産ノ處分ハドウスルカト云フコトヲ明カニシナイデ出資ハ出來ナイ、ソナコトデ應募スル者ガアレバ、ソレハドウカシテ居ルノデス、自分ノ出シタ金ガ跡始末ガドウナルカ分ラヌデ出資スル人ハアリマスカ、ダカラ其ノ點ヲ十五條ニチツトモハッキリシナイデ斯クノ如キ法案ヲ出サレタノデヤ出資ニ應ズル者ハナイ、必ズヤ私ハ勸業銀行ト産業組合中央金庫ニ限ラレテシマフト思フ、ソレハ政府ガ命令スルカラ叱ラレテ困ルト云フノデ出スノデアツテ、株主ニ忠實ナル所以デヤナイ、勸業銀行ノ總裁ガサウ云フモノヲ引受ケタトスレバ株主ニ忠實ナルモノデハナイ、或ハ是ハ極端ナ議論ヲスレバ背任罪ト云ツテモ私ハ

宜イト思フ、中央金庫ト雖モ各産業組合カラ出資シテ居ルモノヲ返サナイカモ知ラヌト云フ意味ニ於テ此ノ出資ヲスルト云フコトハ私ハナイト思フ、ソコデ公益法人ノ一番ノ重點ハ、出資金ヲ返サナイト云フコトガ公益法人ノ重點ナンデス、同ジ類似ノ法人ニ歸屬セシメテシマフノデス、財産ヲ……後カラ返ラナイト云フノガ公益法人ノ本質デス、ソレガ此ノ問題ノ要點ナンデス、此ノ委員會デモ競馬ノ場所ガドウノ斯ウノ、ソレヲ一ツ耕作ニ使ハナケレバナラヌデヤナイカト云フ議論ガアリマシタ、其ノ競馬ト云フモノノ本質ハ茲ニ論ジマセヌガ、簡單ニ言ヘバ、競馬ト云フモノハ馬ノ能力ノ檢定ト云フコトト馬券ヲ賣ルト云フコトトニツガアルノデスガ、世間ノ人ハ兩方ヲ混同シテ居ルモノダカラ競馬ガ惡イト言ツテ居ルガ、競馬ガ惡イノデヤナイ、馬券ガ惡イノデス、能力檢定ハ國家ノ必要トシテヤルノデアツテ、ソレヲ馬券ヲ賣ルカライケナイノデ、ソレヲ混同シテ競馬ガイケナイト言フノデスガ、能力檢定ガ出來ナイト種馬ト云フモノガ得ラレナイト云フコトニナル、サウ云フ問題ハ別トシテ、元競馬ハドウ云フコトヲシテ居ツタカト云フト、競馬ハ競馬俱樂部ト云フモノガアツタノデス、ソレガ數十萬圓ノ財産ヲ持ツテ居ツタノデス、ソレヲ公益法人デヤラセテ居ツタガ故ニ、政府ハ大日本競馬會ト云フモノヲ作ツテ其ノ財産ヲスツカリ取上ゲテヤツタ、公益法人ナルガ故ニ取上ゲテヤツタノデス、俱樂部員ガ出シタケレドモ、ソレハ返サナイ、公益法人デアルカ私益法人デアルカト云フコトハサウ云フ所ニ要點ガアルノデス、中間法人ト云フヤウナコトヲ言ハレマスケレドモ、私ノ議論デ致シマスト云フト

ソナモノヲ作ツチャイケナイ、サウ云フ分ラナイヤウナモノヲ作ツタナラバ、ドウ監督シテ宜イカ分ラナイ、ナゼカト云フト、法人ノ行爲ト云フモノハ一體ヲ成スモノデ、金ヲ出ス時ニ、僕ノ方ノ會社ハ中間法人ダカラ……寄附ト云フコトガ起ツテ來ルトシマス、何カ會社ノ仕事ノ經營ニ付テ必要ナモノヲ寄附スルト云フコトガ起ツテ來ル、營利法人ナラ營利法人ノ積リテ寄附ヲスル、公益法人ナラ公益法人ノ積リテ寄附ヲスル、或會社ハ中間法人ダカラ中間的寄附ト云フコトハ出來ナイ、ソナコトハ會社ノ經營者ニ御注文ニナレバ直グ分ルノデス、會社ノ經營者ハ困ツテシマフノデス、デスカラ中間法人ト云フモノヲ作ルコトハ私ハイカヌト思フ、其ノ本體ノ議論ハ今御議論ヲ承ツタ所ニ依ツテ非常ニ私ハ……是ハモウ少シ政府ノ意見ヲ聽カナクチャナラヌト思ヒマスカラ委員長ニ申上ゲマス、企畫院總裁ノ御出席ヲ求メマス

テアレバ、死スコトモ書クノガ當リ前、凡ソ人間ガ存在スレバ生死ト云フコトヲ書クノハ當リ前、民法ニ於テ「私權ノ享有ハ出生ニ始マル」ト云フコトガアレバ必ズ死亡ト云フモノガアツテ、其處ニ相談ト云フコトガ始マル、生ヲ書イテ死ヲ書カナイト云フ法律ト云フモノハ私ハナイト思フ、是ハ營團ニ於テ初メテ發見サレル問題デアツテ、是非非常ニ惡イ立法デアル、ナゼサウ云フコトヲシタカト云フコトニ付テハ、是ハ企畫院總裁ニ伺ヒマスガ、是ハ國策會社ガ餘リ多過ギルカラ整理シヨウデヤナイカト云フコトガ今衆議院デ出テ居ル、ソレハ一向差支ナイ、國策會社ト云フコトニナルト又問題ヲ起スト云フノデ、營團ト云フモノノ變形ヘテ出シタト云フコトノ考ヘ方モアルシ、更ニモウ少シ我々ガ疑ヲ持ツテ居ル點ガアリマス、ソレハ後デ企畫院總裁ニ伺ヒマス、ソコデ今度實際問題ニ移リマスガ、民事局長ハ第十三條ノ定款ヲ作ル場合ニ、此ノ目的ニハドウ書カセマスカ、營團法人ハ定款ヲ以テ左ノ事項ヲ規定スベシ、目的、其處ニドウ書キマスカ

○政府委員(坂野千里君) 第一條ノ此ノ目的ヲ掲ゲマス

○委員長(伯爵黒木三次君) 承知致シマシタ、時モ移リマシタカラ、企畫院總裁ノ都合ヲ聽キマスシ、或ハ明朝ニナルカモ存ジマセヌ、ソレヲ御含ミ置キ願ヒマス

○松村眞一郎君 ソコデ引續キ申上ゲマス、例ヘバ農會法ト云フモノヲ政府ガ作リマスト云フト、農會ト云フモノハ解散スル積リハナイ、政府ハ帝國農會ヲ作ツテ、解散ヲスル積リテ帝國農會ヲ作リマセヌケレドモ、農會法ト云フモノヲ作レバ、必ラズ解散ノ規定ガ書イテアルノデス、茲ニ水産會法ト云フモノヲ作レバ、帝國水産會ト云フモノハ解散スル積リハナイノデス、ダケレドモ解散ノ規定ト云フモノガ必ズ書イテアル、ソレハ法人ト云フモノハ生レルコトヲ書イ

○松村眞一郎君 第四條ノ目的ハ書キマセヌカ

○政府委員(坂野千里君) ソレモ加ヘマス

○松村眞一郎君 ソレデハ今ノ御答デ私ハ明瞭デアルト思フ、是ハ農林省ノ方ガ定款ノ認可ヲサレマスカラ、第一條ノ規定ハ忘レナイヤウニト云フコトヲ御注意致シマス、何故カト申シマスト、第一條ハ何ヲ書イテ居ルカト云フト、食糧ノ自給ト云フコトヲ書イテ居ル、第四條ハ農地開發營團ハ重要

○松村眞一郎君 第四條ノ目的ハ書キマセヌカ

○政府委員(坂野千里君) 第一條ノ此ノ目的ヲ掲ゲマス

○政府委員(坂野千里君) ソレモ加ヘマス

○松村眞一郎君 ソレデハ今ノ御答デ私ハ明瞭デアルト思フ、是ハ農林省ノ方ガ定款ノ認可ヲサレマスカラ、第一條ノ規定ハ忘レナイヤウニト云フコトヲ御注意致シマス、何故カト申シマスト、第一條ハ何ヲ書イテ居ルカト云フト、食糧ノ自給ト云フコトヲ書イテ居ル、第四條ハ農地開發營團ハ重要

○松村眞一郎君 第四條ノ目的ハ書キマセヌカ

○政府委員(坂野千里君) 第一條ノ此ノ目的ヲ掲ゲマス

○政府委員(坂野千里君) ソレモ加ヘマス

○松村眞一郎君 ソレデハ今ノ御答デ私ハ明瞭デアルト思フ、是ハ農林省ノ方ガ定款ノ認可ヲサレマスカラ、第一條ノ規定ハ忘レナイヤウニト云フコトヲ御注意致シマス、何故カト申シマスト、第一條ハ何ヲ書イテ居ルカト云フト、食糧ノ自給ト云フコトヲ書イテ居ル、第四條ハ農地開發營團ハ重要

○松村眞一郎君 第四條ノ目的ハ書キマセヌカ

○政府委員(坂野千里君) 第一條ノ此ノ目的ヲ掲ゲマス

○政府委員(坂野千里君) ソレモ加ヘマス

○松村眞一郎君 ソレデハ今ノ御答デ私ハ明瞭デアルト思フ、是ハ農林省ノ方ガ定款ノ認可ヲサレマスカラ、第一條ノ規定ハ忘レナイヤウニト云フコトヲ御注意致シマス、何故カト申シマスト、第一條ハ何ヲ書イテ居ルカト云フト、食糧ノ自給ト云フコトヲ書イテ居ル、第四條ハ農地開發營團ハ重要

○松村眞一郎君 第四條ノ目的ハ書キマセヌカ

○政府委員(坂野千里君) 第一條ノ此ノ目的ヲ掲ゲマス

○政府委員(坂野千里君) ソレモ加ヘマス

○松村眞一郎君 ソレデハ今ノ御答デ私ハ明瞭デアルト思フ、是ハ農林省ノ方ガ定款ノ認可ヲサレマスカラ、第一條ノ規定ハ忘レナイヤウニト云フコトヲ御注意致シマス、何故カト申シマスト、第一條ハ何ヲ書イテ居ルカト云フト、食糧ノ自給ト云フコトヲ書イテ居ル、第四條ハ農地開發營團ハ重要

○松村眞一郎君 第四條ノ目的ハ書キマセヌカ

○政府委員(坂野千里君) 第一條ノ此ノ目的ヲ掲ゲマス

○政府委員(坂野千里君) ソレモ加ヘマス

農産物ト書イテアル、ソコノ中ニ食糧ト云フ字ハナイ、農地開發營團ハ重要農産物ノ増産ヲ圖ル爲メ必要ナル農地ノ開發ニ關スル事業ヲ營ムコトヲ以テ目的トスル法人デアルト云フノダカラ、今度定款ヲ作レバ直グ之ヲ書クダラウト思フ、農地開發營團、本營團ノ目的ハ重要農産物ノ増産ヲ圖ルモノデアル、サウスルト食糧デナイモノダツテヤッタテ構ハスト云フコトニナル、桑ヲヤツテモ宜カラウシ、麻ヲヤツテモ宜イ、處ガ私ハサウ云フコトハ宜クナイト思フ、僕ノ議論ハ……、私ハ農地開發ト云フコトハ、食糧ノ自給ヲ強化スルコトガ今度ノ動機ニナツテ此ノ立法ヲスルノデアツテ、何モ食糧ノ本質問題デヤナイ、ソレデアルト云フト開墾助成法ヲ此ノ中ニ包容スルコトハ是ハ間違ッテ來ル、開墾助成法ト云フモノハ食糧バカリ考ヘテ居ルノデヤナイ、桑ノ爲ニ開墾スルコトモ、一向差支ナイシ、麻ノ爲ニヤツテモ構ハナイ、凡ソ農地デアアルナラバ總テ開發セシメルコトハ當リ前デアアル、處ガ本法ハ第一條ニ目的ヲ書イタガ爲ニ、此ノ法律ノ適用範圍ガ縮小サレタト云フ結果ニナルノデ、農林省ハ後デ後悔サレルト思フ、營團ト云フモノハ今民事局長ガ明カニ言ハレタノデアリマスガ、民事局長ノ所管デ登記ヲスルノデスガ、登記ヲスル時ニ、食糧自給ト云フ字ガ、第一條ノ規定ガナカッタナラバ、是ハ定款ノ登記ハサレナイト思ヒマス營團ノ仕事ト云フモノハ其ノ範圍ニ於テ附帶事業トシテノミ認マラレルコトニナル、ソレデ宜イデセウ、附帶事業デ……是ハ二十三條ノ第二項ニアリマス、前號ノ事業ニ附帶スル事項、是ハ事項ト云フノハ事業ト云フ正誤ガ出テ居リマスカラ事業處ガ幾

ラ附帶シテ見テモ食糧以外ノ所ニ餘リ進ムコトガ出來ナイト云フコトニ、第一條ノ制限ヲ受ケテシマフノデ、是ハ餘計ナコトヲ第一條デ書イタト云フコトニ私ハ申上ゲル、是ハ前ノ農地調整法ノ時ニモ、第一條ニ目的ヲ書クインダカラ、法律ノ目的ヲ書イタングカラ、コンナコトハ餘計ナコトダト云フコトヲ僕ハ其ノ時詳シク論ジテ居ル、法律ノ目的ヲ書クト云フコトハ宜クナイ、書イタツテ、書カナクタツテモ同ジダト云フコトヲ言ウタンデスガ、此處デハ書イタガ爲ニ害ヲ爲シテ居ル、サウ云フヤウナ立法、是ハ慌テテ出來テ居ルノデアツテ、ソレハ寧ロ民事局長ハ只今ノヤウナ工合ニ御答辯ニナリマシタガ、寧ロ農地開發營團ハ廣ク農地ヲ開發セシメテ宜イト思ヒマス、目的ハ食糧自給ノ強化ト云フモノヲ主眼ニスルト云フコトデヤラスト云フト、行政ノ適用上直グ農林省ハ困リマスヨ、是ハ法律ノ缺陷デアルト云フコト、是ハ慌テテ拵ヘタカラ斯ウ云フコトニナツタノデアルト云フコトヲ私ハ斷言シテ憚ラナイ、ソレカラ民事局長ニ伺ヒマシガ、此ノ會社ヲ設立スル際ニハ、出資者ノ總會ヲ招集スルコトニナツテ居ル、第七十二條ニハ「出資第一回ノ拂込完了シタルトキハ出資者ノ總會ヲ招集スベシ」ト云フコトガアル、サウスルト云フト出資者ト云フモノハ、矢張り總會ニ招集スルコト云フ場合ハアル譯デス、何故平素總會ニ招集ヲシテ意見ヲ聽カナイノデスカ、其ノ理由デスネ、斯ウ云フ制度ニシタガ故ニ、此ノ法人ガ中間法人ニナツタト云フコトノ結果ノ方ヲ伺フノデヤナイ、何ガ故ニ何ノ必要ガアツテ出資者ノ總會ト云フモノヲ禁ズルノデスカ、今伺ッテ見ルト云フト、勸業銀行ト中央金庫ノ二ツシ

カナイノナラ、總會ヲ招集シテ差支ナイ、何ノ必要ガアツテ總會ヲ招集スルコトヲ禁止スルノカ、其ノ理由ハナイト思ヒマス、二人ダツタラ直グ出來ル、其ノ出資者ガ非常ニ多數デアツテ、何千人トアルカラ或ハ代表的ノモノヲヤル、總代會ヲヤルト云フナラ意味ハアルケレドモ兩方共東京ニ居ル、電話ヲ掛ケレバ直グ來ル、何ガ故ニ總會ヲ止メナケレバナラヌカト云フ、其ノ理由ヲ聽キタイノデス

○政府委員(坂野千里君) 御尋デゴザイマスガ、此ノ農地開發營團ニハ二十二條デ評議員ヲ置クコトニナツテ居リマス、此ノ評議員ハ事業經營ニ關スル重要事項ニ付理事長ノ諮問ニ應ジ、必要アルトキハ之ニ對シテ意見ヲ述ベル、此ノ評議員ガ大體此ノ開發營團デハ出資者或ハ普通ノ株式會社デ謂ヒマス株主ノ總會ニ代ルモノデアアル、此ノ特殊ノ目的ヲ持ッテ居リ、特殊ノ公共性ヲ持ッテ居ル開發營團ニ於テハ評議員ニ於テ此ノ意思ヲ表スルノデアアル、斯様ニ考ヘテ居リマス

○松村眞一郎君 サウ致シマスト、此ノ營團ノ出資者ノ意見ハ平素ハ聽カナイト云フコトニナル譯デスカ、何故聽カレナイデスカ、ソレガ分ラナイ、何ガ故ニ出資者ノ意見ヲ聽イチャ悪イノカ、評議員ガアルカラト云フノデ、二人ノ出資者……今ノ御話ヲ承リマス二人ノ出資者ヲ排除スルト云フ理由ガ分ラナイ、何ガ故ニ加ヘテ惡イカト云フコトヲ私ハ聽クノデス、何故惡イノデスカ、勸業銀行ノ首腦者、中央金庫ノ首腦者ヲ加ヘテ惡イト云フノハドウ云フ譯デスカ

デアリマスガ、先程民事局長カラモ御話ガアリマシタヤウニ、本營團ノ仕事ノ性質上、相當ニ國策ヲ代行セシメテ行クト云フヤウナ使命ヲ持タシメタモノデアリ、且又出資者モ御案内ノヤウニ只今ノ計畫トシテハ二ツデアリマス、是ハ特ニ總會ト云フ形式ヲ採ラヌデモ、實際問題トシテ御話ノヤウニ東京ニ責任者ガ居ラレマスノデスカ、常ニ密接ナ連絡ヲ執ッテ政府ガ意見ヲ聽クコトモ出來マスルシ、更ニ營團ノ首腦部ヲシテ意見ヲ聽カシムルト云フヤウナ方法モ採ッテ行ケバ宜イノデヤナイカト、斯様ニ考ヘマスノデ特ニ總會ノ形式ヲ採ラズニ、實際問題トシテハ運行ガ出來ル、斯様ニ考ヘマシタ、殊ニ評議員ノ任命等ニ於キマシテモ、恐ラク其ノ中ニ關係者ノ勸業銀行ナリ、或ハ産業組合中央金庫等ノ關係者モ評議員ノ一人ニ勿論加ルコトニナルダラウト思ヒマスノデ、實質的ニハ十分ニ其ノ意見ヲ聽キ得ル機會ヲ作り得ルノデアリマス、特ニ總會ノ形式ヲ採ル必要ハナカラウト、斯ウ云フ風ニ考ヘタ譯デアリマス

○松村眞一郎君 益、理由ガナイト思ヒマス、中央金庫ノ人モ、勸業銀行ノ人モ評議員ニ加ヘルト云フ、評議員ニ加ヘルナラバ、出資者トシテモ別ニ相談シテ宜イト思フ、評議員ト出資者トハ利害關係ガ違フ、ソレヲ一緒ニシテ、評議員デアアルガ故ニ出資者ノ意見ヲ聽カナイデモ宜シイト云フコトニナリマスガ、……

○政府委員(周東英雄君) 只今ノ御話デゴザイマスガ、私ハ評議員ナルガ故ニ出資者ノ意見ヲ聽ク必要ハナイト申上ゲタノデハナク、實質上二ツノ出資者デアリマスカラ、現實ニ政府ガ直接二ツノ當事者ニ意見ヲ聽

クコトモ致シマセウシ、更ニ營團ノ當局者ヲシテ聽カシメルヤウナ方法ヲ採ルコトモ考ヘテ行キタイ、非常ニ數ガ少イカラ特ニ總會ノ形式ヲ採ルノ必要ハナカラウト、斯様ニ考ヘタト云フコトヲ申上ゲタノデアリマシテ、更ニ附加ヘマシテ、恐ラク評議員等ニモ入りマスカラ、二重ニモ三重ニモ意見ヲ聽ク機會ハ十分ニアルノデハナカラウカ、斯様ニ申上ゲタ譯デアリマス

○松村眞一郎君 私ハサウ云フ御説明ニハ承服致シマセヌ、小サイカラト云フコトハ先程ノ御説明ニ依レバ、理解スル者ガアレバ出資者ハ拒マナイト云フノデスカラ、ソレハ廣クナルコトハ一向差支ナイト云フコトヲ考ヘナケレバイケナイ、殊ニ法律ノ場合ニ、實際ニ斯ウナルカラ法律ノ規定ニハ書カナクテモ宜イト云フコトハ、法律ヲ無視シタコトデアル、法律ハ矢張り書カナクチヤナラヌ、實際ナルカラ法律ハ要ラナイト云フナラ、法律ハ要ラナイ、サウ云フコトハ立法ノ際ニ於ケル態度トシテハ私ハ宜シクナイト思フ、サウ云フ考ヘ方ハ是ハ意見ノ相違ト言ヘバ意見ノ相違デスカラ、其ノ説明ニハ承服致シマセヌト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、企畫院總裁ガオイデニナツタヤウデスカラ企畫院總裁ニ伺ヒマス、今色々伺ッテ居ルト、アノ營團ト云フモノノ本質ガ私ニハ分ラナイ、ソコデ私ハ斯ウ云フコトヲ非常ニ疑フノデス、政府ハ此ノ營團ト云フモノハ中間法人ダト云フコトヲ言ウテ居ラレル、今民事局長ガ……公益法人ニモ非ズ、營利法人ニモ非ズ、中間法人ヲ作ルト云フ、中間法人ヲ作ル所ノ理由何處ニ在ルカト云フコトヲ伺ッテ居ルノデス、ソレデ企畫院總裁ニ特ニ伺フコトハ、何ノ爲ニ

此ノ際營團ト云フヤウナモノヲ作ル必要ガアルノカト云フコトデス、ソレヲ尙穿ッテ御尋ネシマスト、世間ニハ斯ウ云フコトヲ言ッテ居ル譯デス、資本ト經營トヲ分離スルト云フコトヲ初メ考ヘタラデス、企畫院ガ考ヘタカモ存ジマセヌ、兎モ角資本、經營ノ分離ト云フコトヲ初メ考ヘタ、世間デハソレハイケナイト云フコトヲ言ヒ出シタ、ソレカラ今度ハ企畫院ナリ閣議デハ資本、經營ノ有機的結合ト言ヒマスカ、サウ云フコトヲ今度ハ決メタ、ソレデアレバ資本ト經營トヲ分離スル方向ニ進マナイト云フコトヲ考ヘテ居ラレルノデナイカ、處ガ此ノ法律デ營團ト云フモノヲ作ルノハ、資本ト經營トヲ分離スルモノデアルト云フコトヲ私ハ申スノデアル、何故カト言フト出資者ノ意見ヲ聽カナイ、今ノ説明ヲ伺フト評議員ヲシテ色々ナコトヲ考ヘサセル、評議員ハ出資者デヤナイ、ソレカラ役員ハ總テ政府ガ任命スル、是レ即チ經營者デアル、是ハ經營者ト出資者トヲ分離スルト云フ法律案デス、サウスルナラバ政府ハ國策會社ヲ止メテ、營團ト云フ名ノ下ニ於テ資本ト經營トヲ分離スルコトニ一步進メテ立法ノ形式ヲ採ラレタト云フコトニナル、私ハソレハ政府ノ意味ガ分ラナイ、資本ト經營トノ分離トカ、有機的的關係ト云フコトハ、ドウ云フコトヲ考ヘテ居ラレルノデスカ、總裁ハ……、國務大臣トシテノ御意見ヲ伺ヒタイ

○國務大臣(星野直樹君) 營團ノ法律上ノ性質ニ付テハ先程來、私ハマダ十分聞イテ居リマセヌデシタガ、各當局カラ御説明ガアツタコトト思ヒマス、要スルニ事業ノ中特ニ公共性ガ強イモノデアリマシテ、其ノ

事業ヲ營ムコトニ依リマシテ相當ノ利益ハ得ルト云フヤウナコトハ困難デアル、又所謂普通ノ會社ノ經營デ不適當ト認メラル、モノニ付テ特ニ營團ノ形式ヲ採ル、從來各種ノ金庫ト云フヤウナモノニ付テ考ヘテ居ッタト同ジヤウナヤリ方ヲ特別ニ必要ナル例ヘバ住宅デゴザイマストカ、或ハ農民ニ特ニ關係ノ深イモノニ付テヤルト云フヤウナ趣旨デ出來テ居ル、政府ガ資本ト經營トヲ分離ト云フヤウナコトハ、是ハ此ノ議會ニ於テヨク申上ゲマシタガ、左様ナコトハ政府トシテハ未ダ曾テ主張致シタコトハナイデアリマス、色々商法ノ改正其ノ他ヲ繞リマシテ、説明ノ方法トシテ株式會社ノ傾向ヲ、或ハ資本ト經營トヲ分離ト云フヤウナコトヲ言ッテ居ル人モアリマスルシ、又之ニ關聯致シマシテ色々議論モ世間ニハアツタカモ知レマセヌガ、當初ヨリ政府ト致シマシテハ、事業ト致シマシテハ矢張り有機的一體トシテ行クト云フコトヲ本旨トシテ考ヘテ居ル譯デアリマス、其ノ趣旨ニ付テハ特ニ經濟新體制ノ閣議ニ於テモ明カニ致シテ居リマシテ、毫モ異ナツテ居ル所ハゴザイマセヌ、ソレデ非常ニ公共ノ性質ノ多イ、從來ノ例ヘバ恩給金庫ト云フヤウナモノト同ジヤウニ、住宅或ハ農民ニ關係アルヤウナモノデ、之ヲ以テ所謂會社經營ト云フヤウナ色彩ヲ出スヨリハ、公共的ノ色彩ヲ更ニ濃厚ナラシメル必要アルト云フ特殊ノモノニ付キマシテ、左様ナ趣旨ヲ盛ク特別ノモノヲ作ルト云フコトニ付キマシテハ、ソレハ勿論適當ト認メマシテ、營團ト云フモノヲ茲ニ認メタコトデゴザイマスルガ、一般國策會社ニ付キマシテハ或ハ殊ニ經濟上ノ一般ノ事業ト云フコトニ付キマシテ

ハ先般明カニ致シマシタ通り、資本經營兩者一體トナッテ行クト云フコトヲ可ト信ジ、又斯ク指導スル積リデゴザイマス

○松村眞一郎君 私ハ資本ト經營ト分離スルト云フコトハ未ダ主張シタコトハナイト云フ、御主張ノコトヲ承ッタノデハナイノデアリマス、此ノ營團ハ資本ト經營トノ分離ノ方向ニ向フモノナキヤト云フコトヲ私ハ疑フノデアリマス、分離スルモノデナイカト云フコトヲデス、出資者トシテ意見ヲ聽カナイノデアリマスカラ、其ノコトヲ私ハ今申シタノデアリマス、株式會社ノ場合ヨリモ、資本ト經營トヲ分離スルモノデアルト云フコトヲ御認ニナルノデセウカ

○國務大臣(星野直樹君) 株式會社ヨリ詰リ財團法人ノヤリ方ニ近イト云フコトデアリマシテ、結局ソレヲドウ云フ言葉デ表スカト云フコトハ別デアリマスカ、極メテ平靜ニ言ヘバ公共的ノ性質ガ強イモノデアッテ、ソレニ對シテ政府モ指導シ、或ハ經營者ト云フモノノ獨立ノ判斷デヤッテ行カウト云フモノデアルトハ事實デアリマス

○松村眞一郎君 公共的ノ性質ノ強イモノト云フコトノ、概括的ノ事柄デ私ハ了解出來ナイ、日本銀行ハドウデスカ、日本銀行ハ株式會社デス、滿鐵ハ株式會社デス、其ノ公共性ト此ノ農地開發ノ公共性トハ、日本銀行ノ方ガ公共性ニアラズト云フコトヲ御考ニナルノデスカ、滿鐵ハ是ヨリモ公共性ニアラズト云フコトヲ御考ニナリマスカ

○國務大臣(星野直樹君) 公共性ガ強イモノデ、事業ノ性質上株式會社トシテ經營セシムルヨリハ、斯クノ如キ形式ニ依ッタ方ガ適當ト思フノデアリマス、滿鐵、日本銀行ハ自ラ矢張り事業ノ性質上、株式會社デヤ

ルコトヲ適當ト認メテ居ル譯デアリマス
○松村眞一郎君 事業ノ性質上ト云フ意味
ハ私ニハ能ク分リマセヌガ、公共性ト云フ
コトニナリマス云フト、例ヘバ私ハ今度
出サレタ交通團ノ方デスネ、交通團ト
云フヤウナモノハ私ハ或意味ニ於テ公共性
ガアルト思ヒマス、是ハ出來タ所ノ交通機
關ト云フモノハ何人デモ使フト云フモノ
デ、公共ノ利用ト云フモノデス、電燈モサ
ウデス、デスカラ是ハ外國ノ立法デハハ
リック・ユーチリチー」ト云フ、公共ノ用ニ供
スルモノデアル、公共ノ用ニ供スルモノダ
カラ電氣事業法ニモ色々々公用徵收ノ規定
ガアル、處方出來タ農地ハ公衆ガ利用スル
ノデハナイ、地主ガ耕作スルノデアル、何
處ヲ公共ト言ハレテ居ルノデスカ、ソレヲ
伺ヒタイ

○國務大臣(星野直樹君) 御答ヘ致シマス、
今回營團トシテ出シマシタモノハ、例ヘバ
今交通ノヤウナモノ、及ビ一般勞務者ノ住
宅ヲ造ル住宅營團、或ハ今回ノ農地開發營
團ト云フヤウナモノデゴザイマスルガ、何
レモ其ノ目的トスル所ハ極メテ斯クノ如キ
モノヲヤルコトノ必要ト云フモノハ、國家ノ
非常ニ公共的ノ、公益的ノ目的デアアルノミナ
ラズ、其ノ事業ノ運營自體ト云フモノガ、最
モ公益的ニ運營セラル、コトヲ必要トスル
ノデアリマス、勿論其ノ出來タ結果ト云フ
モノガ公共ニ利用サレルカ、或ハ其ノ結果
ガ更ニ地主ニ利用サレルカト云フコトハ、
私ハ餘リ關係ナイト思ヒマス、如何ニシテ
此ノ會社ヲ運營スルカ、詰リ農地開發ヲ如
何ニヤツテ行クカト云フコトニ付テハ、最モ
公益的ノ見地デヤツテ行カケレバナラス、
所謂普通ノ株式會社ノヤリ方ト云フモノハ

適當トシナイ、斯ウ信ジテ居ルノデゴザイ
マス、斯ウ云フ性質ノモノニ付テハ營團ニ
シタ、斯ウ云フコトデアリマス
○松村眞一郎君 サウ致シマスト是ハ議論
ニナリマスカラ、斯クノ如キ會社ノ運營ハ
公益的の見地デナケレバナラス、サウシマス
ト日本銀行ナリ滿鐵ノ運營ハ公益的の見地デ
ナクテ宜イト云フコトニナルト、是ハサウ
云フコトハ仰シヤラナイ、殊ニ滿鐵ノ如キ
ハ或意味ニ於テ公權的ノコトヲヤツテ居ル、
昔ハ滿鐵ノ附屬地ト云フモノガアツテ、之ヲ
適切ナ例デアリマセヌガ、「イギリス」デ言
ヘバ東印度會社ト云フ程政治的ノモノヲ
ヤツテ居タ、ソレデモ株式會社デアアル、私
ハ是カラ先ハ議論ニナリマスカラ企畫院總
裁ノ御考ニナツテ居ルコトハ斯ウダ、私ハ
サウハ信ジナイト云フコトダケヲ申スヨリ
外ハアリマセヌ、併シナガラ私ノ憂フル所
ハ斯クノ如キヤリ方デ行クノガ、資本ト經
營ト分離シタ形ニナツテ居リマスヨト云フ
コトヲ申上ゲ、主張ヲ云々スルノデヤナ
イ……

○國務大臣(星野直樹君) 所謂資本ト經營
ノ分離ト云フコトヲ論議サレテ居ル場合ハ
私ノ資本ガアツテ、ソレニ對シテ其ノ資本
ノ權限ト云フモノヲ無視スルト云フコトガ
一番問題ニナルト思ヒマス、斯クノ如キ公
益上ノモノニ付キマシテハ、原則ト致シマ
シテ政府ノ出資ニ仰グト、即チ謂ハハ性質
上カラ申シマスレバ、從來ノ恩給金庫デア
リマストカ、財團法人デアリマストカ、サ
ウ云フモノニ似テ居ルノデゴザイマス、從
テサウ云フモノヲ作ルト云フ、特別ノ必要
ノ場合ニ作ルト云フコトハ決シテ一般ノ企
業ノ指導ノ方針ト致シマシテ、或ハ世間デ

色々心配シテ居ルヤウナ資本ト經營ノ分離
ト云フヤウナコトト何等關係ガナイモノト
思ヒマス
○松村眞一郎君 企畫院總裁ノ御考ハソレ
デ能ク了解シマシタ、併シナガラ法律論
ニナリマスカラ私ハ企畫院總裁ノ法律的ト
申シマスカ、法律ノ條文ニ關係シタ公益法
人ノ本質如何、財團法人ノ本質如何ト云フ、
法律專門的ノコトハ私ハ伺ハナイ、デスカ
ラ專門的ノ言葉ヲ總裁ガ御使ヒニナツテモ、
私ハ通俗的ニ承ツテ居ル、專門的ノコトハ
民事局長ト法律論ヲ致シテ居ル、是ハ財團
法人デヤナイ、ソレダト後ノ出資ノ始末ニ
因ル、企畫院總裁ハ是ハ經營ガ公益的デア
ラト云フ考デ、別ニ經營ト出資ヲ分離ス
ルト云フ考ハ含シテ居ナイト云フコトデ
了解シテ宜シイノデスカ

○國務大臣(星野直樹君) ハア
○松村眞一郎君 サウシマス、是ハ企畫
院總裁デナク、國務大臣トシテ御考ヘ願ヒ
タイノハ、是ハ此ノ法律デハ解散シタ場合
ノ財産ノ行キ道ガ書イテナイ、出資シタル
モノヲドウスルカト云フコトヲ書イテアリ
マセヌカラ、公益的ト云フコトニナツテ、公
益法人ニナルト公益法人ハ出資ト云フモノ
ガアル、其ノ出資ハ國庫ニ歸屬スルコトニ
ナル、餘リ公益ト云フコトヲ強ク仰シヤル
ト……ダカラ此ノ法案ニ付テハ出資ニ付テ
ハ出資者ニ返スノデアルト云フコトヲ斷言
サレナイト、出資ニ應ズル者ガアリマセヌ
カラ、ソレダケハハッキリ御答辯願フコトガ
必要デアルト思ヒマス
○國務大臣(星野直樹君) 第十五條ニ「解
散ヲ必要トスル事由發生シタル場合ニ於テ
其ノ處置ニ關シテハ別ニ法律ヲ以テ之ヲ定

ム」ト書イテアリマス、勿論若シサウ云フ
コトガアリマスレバ、出資ニ付キマシテハ、
出資者ニ返スト云フコトハ當然ノコトデア
リマシテ、ソレハサウ云フ風ニ考ヘテ居
マス
○松村眞一郎君 企畫院總裁ノ御考ハ營團
ト云フヤウナモノニ付テ、マダ是ハ擴張シ
ナケレバナラス傾向ニアルト云フヤウニ、
御考ヘニナツテ居ルノデアリマス、詰リ私
ノ御尋ネセムトスル所ハ、私ハ政府ノ法制
ガ如何ニモ散漫デアルト云フコトデス、例
ヘバ茲ニ國策會社ト云フモノガ非常ニ澤山
アル、ソレハ企畫院總裁モ衆議院デ御答辯
ニナツテ居ルヤウデス、國策會社ト云フモノ
ニ付テハ書キ換ヘナケレバナラス、處ガ非
常ニ私ハ煩瑣ナコトヲヤツテ居ラレルト思
フノハ、此ノ度ノ國策會社ニ關スル法律ヲ
衆議院デ個々ニ修正シテ居ル、何ヲ修正シ
テ居ルカト云フト官吏退職後五年以内ニハ
役員ニシテハイカスト云フ、個々ノ法律ニ
一々書イテ煩瑣ナルコトヲ衆議院ヲシテナ
サシメル立法ヲスルコトハイカナイト思フ、
一ツ國策會社ト云フモノヲ出シテ、官吏
退職後五年經タナケレバイカスト云フコト
ヲ出セバ、衆議院ヲシテ斯クノ如キ煩瑣ナ
コトヲヤラセル必要モナケレバ、貴族院ガ
之ヲ承ケテ審議スル必要モナイ、只雜然ト
出サレテ纏リガ付カナイモノハ宜クナイト
思ヒマス、ソレハドウ云フ御考デアリマス
カ

○國務大臣(星野直樹君) 同感デス
○松村眞一郎君 企畫院總裁ガオイデニナ
ルノデ大臣ニ伺ツテ宜イト思ヒマスガ、企畫
院總裁ハ國務大臣トシテ全般的ニ御考ニナ
ル立場ニアリマスカラ、各省ノ權限ニ囚ハ

レナイ自由ノ立場ニ居リマスカラ、私ハ此ノ法案ヲ見テコンナニ感シタコトガアル、ソレハ今政府委員ノ答辯ヲ伺フテ分リマシタガ、勸業銀行ト中央金庫ニ出資サセル、北海道拓殖銀行ハドウシタンデスカ、私ハ開墾ノ中ニハドウシテモ北海道ノ土地ヲ開發スルト云フコトガ必要ダト思フ、處ガ北海道ニ付テハ拓殖計畫ハ別ニゴザイマスガ、内務省所管デス、ソレハナカクウマク行カナイ、企畫院總裁ハサウ云フコトヲ御考ヘ願ヒタイト思フ、全般的ノ事ヲ考慮シナクテハイカスト思ヒマス、拓殖銀行ノ出資ヲ除イテ居ルト云フ思想ガ此ノ法案ニ付テ内地本位デアルト云フコトヲ茲ニ示シテ居ル、サウ云フ御考ガ又私ハイケナイト思ヒマス、能ク御考ヲ願ヒタイ、外地モ本當ハ併行シテ行カケレバナラヌノデス、處ガ外地ト相談シテ是ハ農林大臣ノ御答辯デスガ、内地ノコトヲ先ニヤツテ吳レト云フコトデアリマスガ、私ハ豫テカラ言フテ居ルノデスガ、臺灣ノ蕃界ハドウナサルト云フノデス、非常ニ廣イ蕃界ガアル、ソレヲモウ少シ利用ナサルガ宜イト思ヒマス、サウ云フヤウナコトモアリマスガ、外地トノ連絡モ一ツ御考ヘ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ不動産金融トノ關係モ御考ヘ願ヒタイ、ソレハ片一方ニ於テ只今申シマシタ農地保險ト云フモノヲ考ヘテ、土地ニ付テ直グニ災害ガ起リマセウ災害ガ起ツテ潰レルト直グニ金ヲヤラナケケレバナラス、今ドウ云フコトヲヤツテ居ルカト云フト、災害復舊費ト云フコトデ内務省ガ金ヲ出シテ、ソレガ秩序整然トシテ居ナイ、ソナ様ナコトヲ考ヘルナラバ、相當ニ農地ノ關係モ秩序整然トシタモノニナツテ、考ヘテ居ラレル問題モ整フコ

トニナルドラウト思ヒマス、ソナヤウナ點ハ全般的ノ問題デアリマスカラ、企畫院總裁ニ於テ御考ヲ願ヒマス、ソレカラ此ノ法案ヲ見マス、是モ企畫院總裁ニ御考ヲ願ヒマスガ、必要ナル經費豫算ト云フモノハ效ニ提案サレテ居ルデアリマスガ、十年計畫シカナイノデス、處ガ此ノ仕事十年デ終ラナイノデス、ダカラ十年計畫ハ豫算ノ計畫デアルケレドモ、事業計畫ハモット長ク持ヘナケレバイカスト思フ、是ハドウ云フコトニナツテ居ルカト云フト、例ヘバ是ハ債券ヲ出スコトニナツテ居リマス、農地開發債券、農地開發債券ト云フモノハ、是ハ一般カラ募集スルモノデスカラ、事業ヲ或程度明カニシナイト云フト、之ニ應募スル者ハナイノデス、恐ラク政府委員ノ御答辯ノ態度カラ考ヘルト云フト、是ハ預金部ニデモ引受ケサセルト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ルノデハナイカ、成ルベク政府部内デ片附ケルヤウニ……處ガ廣ク募集シヨウト云フコトニナルト農地開發營團ノ仕事ヲ公ニシナイトイケナイノデス、サウ云フコトモ餘程考ヘラレテ十年計畫ニナツラウケレドモ、例ヘバ二十九條ニハ「農地開發債券ノ消滅時効ハ元金ニ在リテハ十五年」ト書イテアリマス、サウスルト十五年ハ債務ヲ負ツテ居ルノデスガ、會社ノ事業計畫ハ十年シカナイ、自分ノ債務ハ十五年引受ケテ居ルト云フコトハ矛盾スルト思ヒマス、此ノ會社ノ存続期間、營團ノ存続期間ト云フモノハ分ラナイ、何時迄存続スルカ、恐ラク存続期間ヲ書カナイデ定款ヲ作ツテシマウダラウト思ヒマス、法律デハ何時迄續クカ分ラナイ、極メテ不明瞭デアリマスカラサウ云フコトヲ御諒承願ツテ、企畫院トシ

テ八十年以上ヲ考ヘテ貫ヒタイ、ソレハ永久立法デアリマスカラ……ソレカラ今ノ關係三十四條ノ規定ヲ御覽ヲ願ヒタイ、ソレハ民事局長ニ御尋ネシマスガ、「財産目錄、貸借對照表及損益計算書ヲ作成シ定款ト共ニ之ヲ各事務所ニ備置クコトヲ要ス」ト云フコトガアリマスガ、是ハ商法ノ規定ト同ジデアリマス、是ハ御認ニナルデセウ、ソコデマア何ノ爲ニ備ヘ付ケルカト云ヘバ、債權者ト出資者ニ閱覽サセルコトガ目的デス、所ガ是ハ閱覽サセナイノデス、ソレハ私ハ宜クナイト思ヒマス、債權者ニ閱覽サセナイデ備付ケテ置クノダト誰ガ見ルノデス、ソナモノヲ備付ケルノハ當リ前デス、貸借對照表、財産目錄ヲ定款ト共ニ事務所ニ備付ケテ置クコトハ當リ前ノ話デアル、凡ソ會社ニハ財産目錄、貸借對照表、損益計算書ヲ備付ケナイモノハナイト思フ、定款モ備付ケナイモノモナイデアリマセウ、處ガ閱覽ト云フ規定ハナイノデスガ、ドウ云フコトヲスル積リデアリマスカ

○政府委員(坂野千里君) 此ノ點民法五十一條ト同様デアリマス、民法五十一條ニ依リマシテ「法人ハ設立ノ時及ヒ毎年初ノ三月内ニ財産目錄ヲ作り常ニ之ヲ事務所ニ備ヘ置クコトヲ要ス」是ハ閱覽ヲ許シテ居ル、之ト同様ニ解シテ閱覽ヲ許スト考ヘマス

○松村眞一郎君 ソレハ民法ノ規定ハ公益法人デス、公益法人デアレバソレデ宜シウゴザイマス、併シハアナタガ中間法人ト言ツテ居ラレルナラバ、中間ノ規定ヲ書カケレバナラスデセウ、民法ト同ジナラバ、中間法人デナイ、公益法人ニナツテシマフ、ソレハ何トカ書カケレバナラス、債權者ニ閱覽サセナイト云フコトハ宜クナ

イト思ヒマス、ト同時ニ普通ノ會社ナラバ公告スルノデスガ、公告モシナイノデス、營團ト云フモノハ何ヲシテ居ルカ分ラナイデ、債權者ガ債券ヲ引受ケルト云フコトハ常識デヤナイノデス、ソナコトデ債券ハ引受ケラレマセウ、ソナコトハ法ガ非常ニ不備ダト私ハ斷言スルノデス、處デ農林省ノ政府委員ニ伺ヒマスガ、農地開發債券ト云フモノハ誰ニ引受ケサセル積リデスカ

○政府委員(周東英雄君) 御答ヘシマスガ、勿論一般ノ公衆ノ問題モ考ヘラレル譯デアリマスケレドモ、是ハ今日ノ金融市場内ノ問題ト能ク考ヘテ行カケレバナラヌノデアリマシテ、各方面ニ多額ノ經費ヲ要シテ居ル今日ノコトハ御承知ノ通りデアリマス、ソレガ爲ニ金融市場ノ問題、通貨ノ問題ト云フコトヲ色々考ヘナケレバナリマセウ關係上、是ハ關係當局ト連絡シテ時ノ狀況ニ依ツテ決メル積デアリマスガ、只今御示ノヤウニ其ノ時ノ狀況ニ依リマシテ、或ハ預金部ノ引受ヲ御願スルト云フコトモ一ツノ考ヘニ入レテ居リマス、サウシテ出來ルダケ金融市場ニ對スル影響ヲ少カラシムルヤウニ考ヘテ行キタイト斯様ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ立チマシタ序ニ先程ノ御質問ガ企畫院總裁ニアリマシタノデスガ、事務的ノ問題デアリマスカラ、便宜私カラ申上ゲマスガ、北海道ニ付テノ開發ニ付テ内地ノコトバカリ考ヘテ居ルデヤナイカト云フ御話デアリマスガ、本案ニ付キマシテハ北海道長官ト連絡ヲ致シマシテ今度ノ土地開發關係ニ於テハ北海道ノ事業モ本案デヤツテ行ケル積リデアリマス、又實際上ヤル積リデ計畫ヲ立テテ居リマス、ソレカラモウ一ツ北海道ヲ開發スルト云フコトヲヤ

ラナケレバ、又當然出資シテ居ル中ニ北海道拓殖銀行モ考ヘルベキガ宜イデヤナイカト云フ御話デアリマシタ、至極是ハ御尤モノ話デアリマスガ、目下此ノ點ニ付キマシテハ關係當局ト話合フ致シテ居ル譯デアリマス、併シマダ拓銀ノ方ニ直接御話ヲ致シテ居リマセヌノデ、先程申上ゲナカッタ譯デアリマシテ、特ニ出資ニ贊スル者ヲ拒マズト云ツクノモソコニ含ミヲ持タシタ譯デアリマスカラ、ソレハ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(星野直樹君) 北海道ノコトハ今ノ政府委員ノ御答辯デ盡キテ居ルト思ヒマスガ、外地ノ關係ニ付キマシテハ誠ニ御趣旨ノ通りデアリマス、木材ノ問題ニ付キマシテモ、其ノ他總テノ問題ニ付キマシテモ、又米穀其ノ他ノ問題ニ付キマシテモ、左様ナ問題ガゴザイマシテ、又現在内外地ノ問題ヲ法制的意義ヲ持ッテ考ヘナケレバナラス、又法制ヲ別ト致シマシテモ、事實上ニモ之ヲモット有機的ニ處置スルコトハ必要デアラウト云フ點ニ付テハ、此ノ點ハ私モ痛感シテ居リマシテ、政府部内ニ於テモサウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、至急取敢ズ之ヲ一歩ヲ進メルノ處置ヲ執リタイト思ッテ居リマス

○松村眞一郎君 只今ノ所デハ是以上企畫院總裁ヲ煩ス積リハゴザイマセヌ

○委員長(伯爵黒木三次君) 松村委員ニ伺ヒマスガ、今日ノ御質問ハ大略之ヲ以テ終了シタト思ッテ宜シウゴザイマスガ、委員長カラモ御願ガゴザイマスガ、他ノ方モマダオアリデスカラ、明日ニデモ又御願ヒ致シタイト思ヒマスガ……

○松村眞一郎君 宜シウゴザイマス

○委員長(伯爵黒木三次君) ソレナラ此ノ程度デ委員會ヲ閉ヂタイト思ヒマスガ如何デアリマスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(伯爵黒木三次君) 今日ハ是ニテ散會致シマス、明日ハ午前十時ヨリ開會致シマス

午後三時五十三分散會
出席者左ノ如シ

委員長 伯爵黒木 三次君
副委員長 男爵岩村 一木君
委員 侯爵蜂須賀正氏君
子爵野村 益三君
子爵織田 信恒君
松村眞一郎君
内田 重成君
男爵小畑大太郎君
下村 宏君
永田秀次郎君
男爵坊城 俊賢君
三浦 新七君
米原 章三君
二瓶泰次郎君
佐藤助九郎君

國務大臣

農林大臣 石黒 忠篤君
國務大臣 星野 直樹君

政府委員

司法次官 三宅正太郎君
司法省民事局長 坂野 千里君
農林省總務局長 周東 英雄君
農林省農政局長 岸 良一君
農林書記官 岡本 直人君
食糧管理局長官 湯河 元威君

昭和十六年二月二十八日印刷

昭和十六年三月一日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局